

2024年7月12日

各位

ジブラルタ生命保険株式会社

教員の意識に関する調査 2024

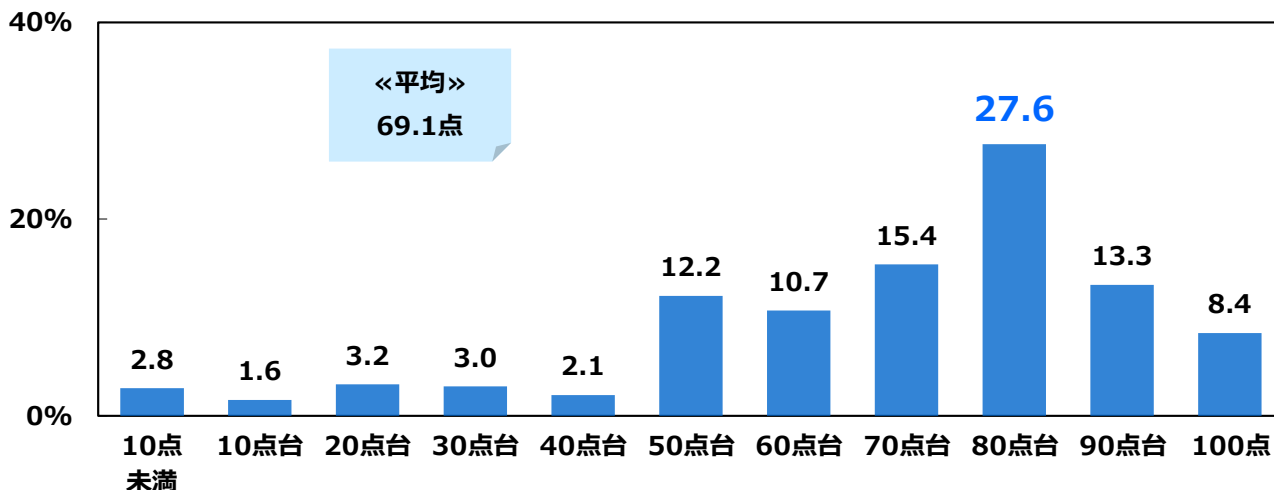
～ 教員生活の充実度を 100 点満点で表すと？ 平均は 69.1 点 ～

ジブラルタ生命保険株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：添田 毅司）は、20歳～69歳の教員（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）2,000名（男性1,320名 女性680名）を対象に、「教員の意識に関する調査2024」をインターネットリサーチで実施し、集計結果を公開しました。（調査協力会社：ネットエイジア株式会社）

◆教員生活の充実度を 100 点満点で表すと？ 平均は 69.1 点

自身の教員生活の充実度を点数（100点満点）で表すと何点になるか聞くと、「80点台」に最も多くの回答が集まったほか、「50点台」や「60点台」、「70点台」、「90点台」にも回答が多くみられ、平均は69.1点でした。

Q. 自身の教員生活の充実度を点数（100点満点）で表すと？



◆ 児童・生徒が日本人としてのアイデンティティを育むために必要だと思うこと

1 位「礼儀作法やマナーを身につける」2 位「日本の歴史を学ぶ」3 位「日本の伝統行事を体験する」

児童・生徒が日本人としてのアイデンティティを育むためには、どのようなことが必要だと思うか聞くと、1位「礼儀作法やマナーを身につける」、2位「日本の歴史を学ぶ」、3位「日本の伝統行事を体験する」となりました。

Q. 児童・生徒が日本人としてのアイデンティティを育むためには、どのようなことが必要だと思う？



1位 礼儀作法やマナーを身につける 45.3%

2位 日本の歴史を学ぶ 39.8%

3位 日本の伝統行事を体験する 31.4%

4位 日本の自然について学ぶ 31.2%

5位 日本の伝統的な衣食住について学ぶ 29.2%

◆ 若手教員として職場に入ってきてほしいアスリート

男性アスリート 1 位は「大谷翔平さん」、女性アスリート 1 位は「池江璃花子さん」

若手教員として職場に入ってきてほしいアスリートを聞くと、男性アスリートでは「大谷翔平さん」がダントツとなり、2位「石川祐希さん」「羽生結弦さん」、女性アスリートでは1位「池江璃花子さん」、2位「浅田真央さん」、3位「阿部詩さん」「北口榛花さん」「田中希実さん」「村上佳菜子さん」と、今年のパリオリンピック出場予定者が複数挙がる結果となりました。

Q. 若手教員として職場に入ってきてほしいアスリートは？

男性アスリート

1位 大谷翔平 488名

2位 石川祐希 16名

羽生結弦 16名

4位 宇野昌磨 14名

高橋藍 14名

女性アスリート

1位 池江璃花子 22名

2位 浅田真央 19名

阿部詩 5名

3位 北口榛花 5名

田中希実 5名

村上佳菜子 5名

◆ 児童・生徒に最も薦めたいテレビ番組

1 位「新プロジェクト X～挑戦者たち～」2 位「世界の果てまでイッテ Q！」3 位「チコちゃんに叱られる！」

児童・生徒に最も薦めたいテレビ番組のタイトルを聞くと、1位「新プロジェクトX～挑戦者たち～」、2位「世界の果てまでイッテ Q！」、3位「チコちゃんに叱られる！」となりました。

Q. 児童・生徒に最も薦めたいテレビ番組のタイトルは？

1位 新プロジェクトX～挑戦者たち～ 66名

2位 世界の果てまでイッテ Q！ 35名

3位 チコちゃんに叱られる！ 24名

4位 サンドウィッチマン&芦田愛菜の博士ちゃん 21名

ダーウィンが来た！ 21名

調査結果 index

◆教職について

……p.6～11

- ・**教員になりたいと思った理由** 1位「教えることが好き」2位「子どもが好き」3位「収入が安定している」
- ・**教員生活の充実度を100点満点で表すと？** 平均は69.1点
- ・**教員としてどのようなときにやりがいを感じる？** 1位「児童・生徒の成長が感じられたとき」
2位「児童・生徒の笑顔をみたとき」3位「児童・生徒と感動を分かち合えたとき」
- ・**理想の教員像** 1位「授業がわかりやすい」2位「児童・生徒のやる気を引き出している」
20代では「児童・生徒とのコミュニケーションが上手」が1位
- ・**自身の仕事についてどのようなキャリア目標を思い描いている？** 1位「定年退職を迎えるまで教育現場で働く」
20代では「担当教科のスペシャリストになる」が1位
- ・**自身が思い描くキャリア目標を実現する上で苦労していること**
“定年退職を迎えるまで教育現場で働く”を目標に挙げた人では「日々の忙しさ」「日々の業務での疲労困憊」
「体力と気力の減退」「時代の変化に合わせた指導法の模索」など

◆今、一番ほしいものについて

……p.12

- ・**教員が今、一番ほしいものは？** TOP2は「お金」「時間・自由時間」

◆業務における時短術・働き方ハックについて

……p.13

- ・**限られた時間の中で効率的に業務をこなすために取り入れている時短術・働き方ハック**
1位「優先順位をつける」2位「ToDoリストを作る・タスク化する」3位「隙間時間を活用する」

◆部活動の地域移行について

……p.14

- ・**部活動の地域移行に期待していること**
1位「教員の負担が減る」2位「地域の専門的指導者の指導を受けられる」3位「子どもたちの選択肢が増える」
公立中学校の教員の63%が「教員の負担が減る」と期待

◆教育現場への対話型AIの導入について

……p.15～16

- ・「対話型AIの教育現場への導入は児童・生徒の“授業中の学習”にメリットのほうが大きいと思う」55%、
“宿題や課題への取り組み”では46%、“自学自習”では60%がメリットのほうが大きいと回答
- ・「対話型AIの教育現場への導入は教員の“授業の事前準備”にメリットのほうが大きいと思う」73%、
“授業中の説明”では67%、“成績表や調査書の評価コメント作成”では68%がメリットのほうが大きいと回答

◆子どもたちからもらうコトバについて

……p.17～18

- ・**児童・生徒から言われて最もうれしかったコトバTOP5**
「ありがとう」「先生が担任・担当でよかった」「授業がわかりやすかった」「授業が楽しかった」「先生のおかげです」
- ・**児童・生徒から言われて最もへこんだコトバTOP5**
「説明がわかりにくい・わからない」「面白くない・つまらない」「嫌い」「先生はわかっていない・わからない」
「他の先生のほうがよかった」

◆子どもたちに身につけてほしいことについて

……p.19

- ・**児童・生徒に身につけてほしいこと** 1位「優しさ・思いやり」2位「社会のルール・マナー」3位「コミュニケーション能力」
高等学校の教員では「社会のルール・マナー」が1位

◆子どもに薦めたいテレビ番組・映画・YouTubeチャンネルについて

……p.20～22

・児童・生徒に最も薦めたいテレビ番組

- 1位「新プロジェクトX～挑戦者たち～」2位「世界の果てまでイッテQ！」3位「チコちゃんに叱られる！」
20代・30代では「世界の果てまでイッテQ！」が1位

・児童・生徒に最も薦めたい映画

- 1位「ドラえもん」2位「ショーシャンクの空に」3位「となりのトトロ」
20代・30代では「名探偵コナン」、40代では「スラムダンク」、50代では「いまを生きる」が1位

・児童・生徒に最も薦めたいYouTubeチャンネル

- 1位「HikakinTV」2位「QuizKnock」3位「中田敦彦のYouTube大学 - NAKATA UNIVERSITY」

◆日本人としてのアイデンティティの育成について

……p.23

・児童・生徒が日本人としてのアイデンティティを育むために必要だと思うこと

- 1位「礼儀作法やマナーを身につける」2位「日本の歴史を学ぶ」3位「日本の伝統行事を体験する」
「日本の歴史を学ぶ」は年代が上がるにつれ高くなる傾向

◆“しくじりエピソード”について

……p.24

・教育現場でやってしまった“しくじり・失敗エピソード” 「教員になって初めての授業参観の日に寝坊」

- 「配布物の配り忘れ」「大量の印刷ミス」「家庭訪問期間中に一軒とばす」「会議中に寝てしまい、寝言」
「試験問題の採点ミスで生徒の成績順位がずれる」「保護者懇談会をダブルブッキング」「生徒の名前間違え」など

◆教科に対する意識・実感について

……p.25～30

・子どもの頃に好きだった教科 男性・女性ともに1位は「算数・数学」、男性では2位「社会」、女性では2位「体育」

- 好きだった理由は？** 国語「物語を読むのが好きだった」、算数・数学「答えが出ると気持ちが良い」、
理科「実験が面白かった」、社会「歴史のストーリーが面白い」、英語「新しい言葉を知ることが楽しかった」、
体育「体を動かすのが好きだった」、図工・美術「ものづくりが楽しかった」、音楽では「歌うことが好きだった」など

・子どもの頃に嫌いだった教科 男性では1位「国語」2位「図工・美術」、女性では1位「体育」2位「算数・数学」

- 嫌いだった理由は？** 国語「筆者が何を伝えたいのかわからなかった」、算数・数学「途中からよくわからなくなった」、
理科「動物の解剖でトラウマになった」、社会「暗記が苦手だった」、英語「単語を覚えるのが苦痛だった」、
体育「走るのが遅かった」、図工・美術「絵を描くのが苦手だった」、音楽「歌唱や演奏が不得意で恥ずかしかった」など

・子どもの頃はわからなかったが大人になって実は役立つということがわかった教科

- 男性では1位「算数・数学」2位「社会」、女性では1位「社会」2位「家庭科」
役立つシーン・役立つことがわかった場面は？ 国語「何をやるにも読解力が必要」、
算数・数学「買い物や料理で役立つ」、理科「いろいろな現象の裏付けを考えられる」、
社会「世の中の出来事の背景や理由を理解できる」、英語「外国人とコミュニケーションがとれる」、
体育「体の動かし方や大切さがわかる」、家庭科「調理や裁縫など日常生活で必要な場面が多い」、
技術「物を作って自分で使える」など

◆職業観について

……p.31～32

- ・**子どもの頃に就きたかった職業** 男性・女性ともに1位は「教員」
男性では2位「プロスポーツ選手」、女性では2位「保育士・幼稚園教諭」
- ・**生まれ変わったら就きたい職業** 男性・女性ともに1位は「教員」
男性では2位「大学教授・研究者」、女性では2位「公務員」
- ・**自分の子どもに将来就いてほしい・就いてほしかった職業** 男性・女性ともに1位は「公務員」
男性では2位「教員」、女性では2位「薬剤師」

◆結婚観について

……p.33～34

- ・**どのような職業の人と結婚した？** 男性では「教員」が3年連続1位、女性では「会社員」が2年連続1位
- ・**どのような職業の人と結婚したい？**
未婚男性では「教員」が3年連続1位、未婚女性では「公務員」が3年連続1位

◆影響を受けた有名人について

……p.35

- ・**今までの人生で一番影響を受けた有名人** TOP2は「イチローさん」「大谷翔平さん」

◆教員・学校×アスリート

……p.36～37

- ・**若手教員として職場に入ってきてほしいアスリート**
男性アスリート 1位は「大谷翔平さん」、女性アスリート 1位は「池江璃花子さん」
- ・**体育の授業で実技を指導してほしいアスリート**
男性アスリートでは1位「大谷翔平さん」2位「イチローさん」3位「内村航平さん」
女性アスリートでは1位「吉田沙保里さん」2位「石川佳純さん」3位「浅田真央さん」「池江璃花子さん」
- ・**学校で児童・生徒向けに講演してほしいアスリート**
男性アスリートTOP3は「大谷翔平さん」「イチローさん」「松岡修造さん」
女性アスリートTOP3は「池江璃花子さん」「吉田沙保里さん」「浅田真央さん」



本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「ジブラルタ生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。

■本リリースに関するお問い合わせ先

ジブラルタ生命保険株式会社 広報チーム 【Tel】 03-5501-6563

アンケート調査結果

◆教職について

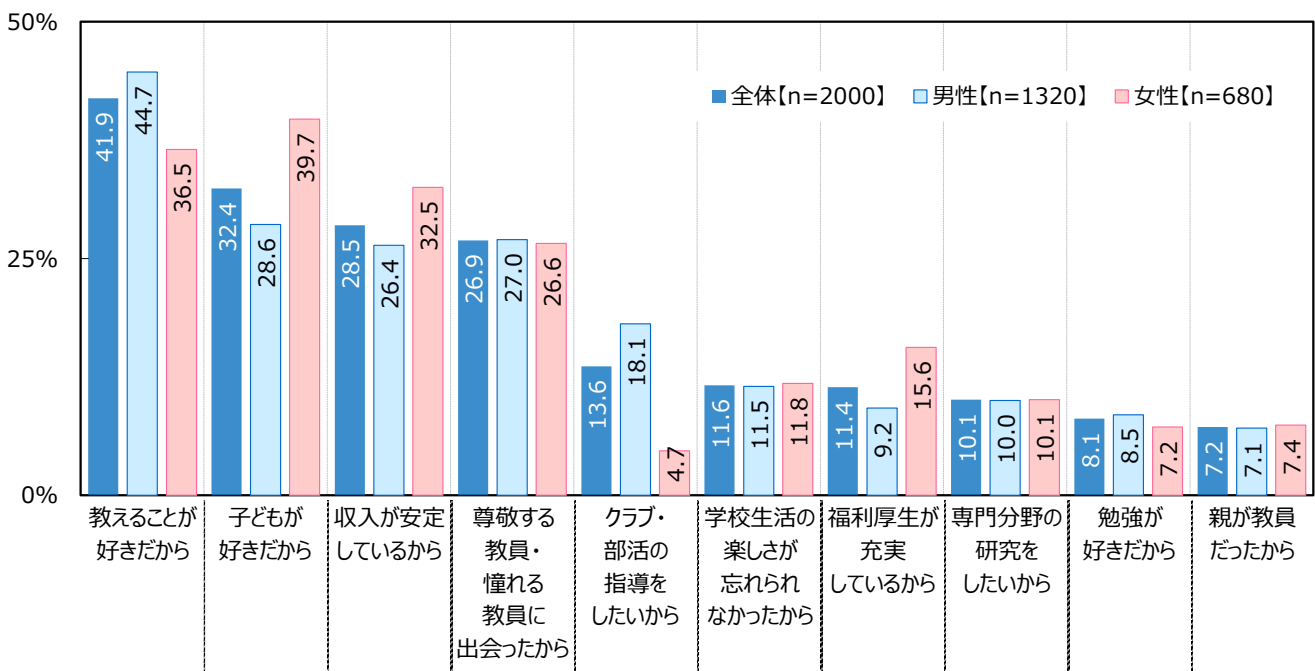
・教員になりたいと思った理由 1位「教えることが好き」2位「子どもが好き」3位「収入が安定している」

全国の20歳～69歳の教員（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）2,000名（全回答者）に対し、教職について質問しました。

まず、全回答者（2,000名）に、教員になりたいと思った理由を聞いたところ、「教えることが好きだから」（41.9%）が最も高くなり、「子どもが好きだから」（32.4%）、「収入が安定しているから」（28.5%）、「尊敬する教員・憧れる教員に出会ったから」（26.9%）、「クラブ・部活の指導をしたいから」（13.6%）が続きました。

男女別にみると、「クラブ・部活の指導をしたいから」（男性18.1%、女性4.7%）は女性と比べて男性のほうが10ポイント以上高く、「子どもが好きだから」（男性28.6%、女性39.7%）は男性と比べて女性のほうが10ポイント以上高くなりました。

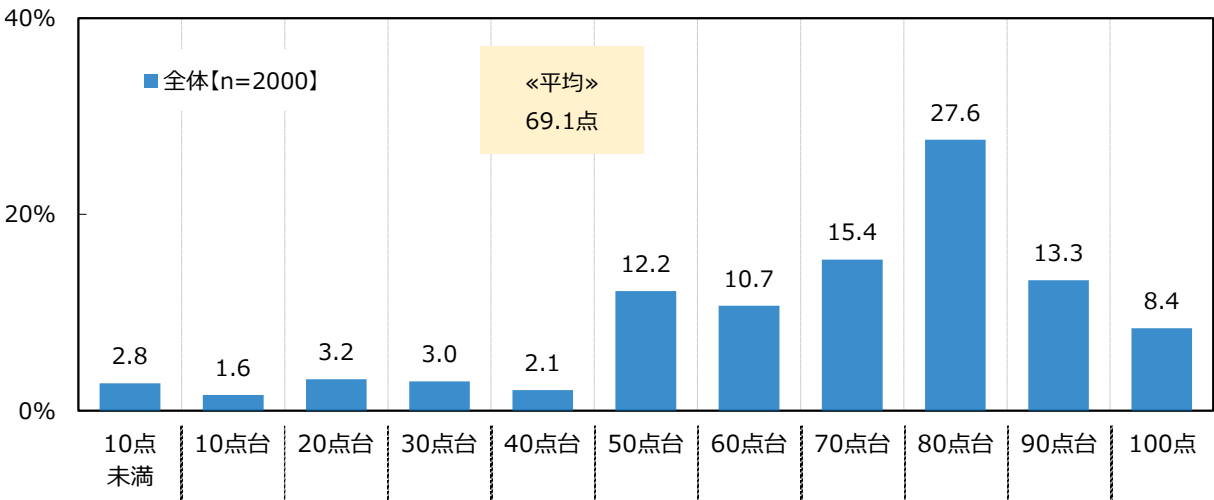
◆教員になりたいと思った理由（複数回答形式） ※上位10位までを表示



・**教員生活の充実度を 100 点満点で表すと？ 平均は 69.1 点**

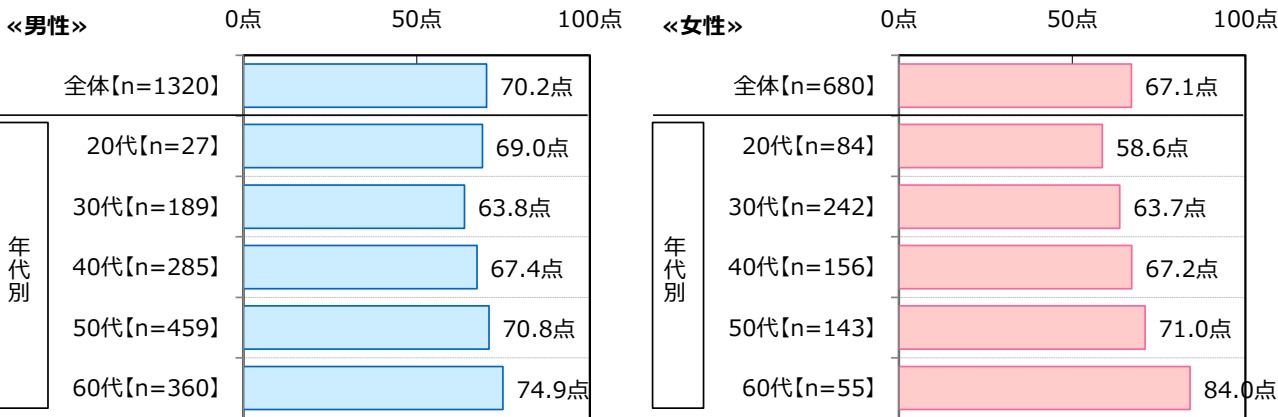
次に、自身の教員生活の充実度を点数（100 点満点）で表すと何点になるか聞いたところ、「80 点台」（27.6%）に最も多くの回答が集まったほか、「50 点台」（12.2%）や「60 点台」（10.7%）、「70 点台」（15.4%）、「90 点台」（13.3%）にも回答が多くみられ、平均は 69.1 点でした。

◆自身の教員生活の充実度を点数（100点満点）で表すと何点になるか （数値入力形式）



男女別にみると、充実度の平均は、男性・女性ともに 60 代（男性 74.9 点、女性 84.0 点）が最も高くなりました。60 代には、長い教員生活を経て、教員としての職務を全うしつつあるという実感や“ここまでよく頑張ってきた”という満足感を抱いている人が多いのではないのでしょうか。また、女性では年代が上がるにつれ充実度の平均が高くなる傾向がみられ、60 代では 84.0 点と、女性の全体（67.1 点）と比べて 16.9 点高くなりました。女性には、人生経験や教員としてのキャリアを積むにつれて、教員生活に対する充実感が高まる人が多いようです。

◆自身の教員生活の充実度（平均）



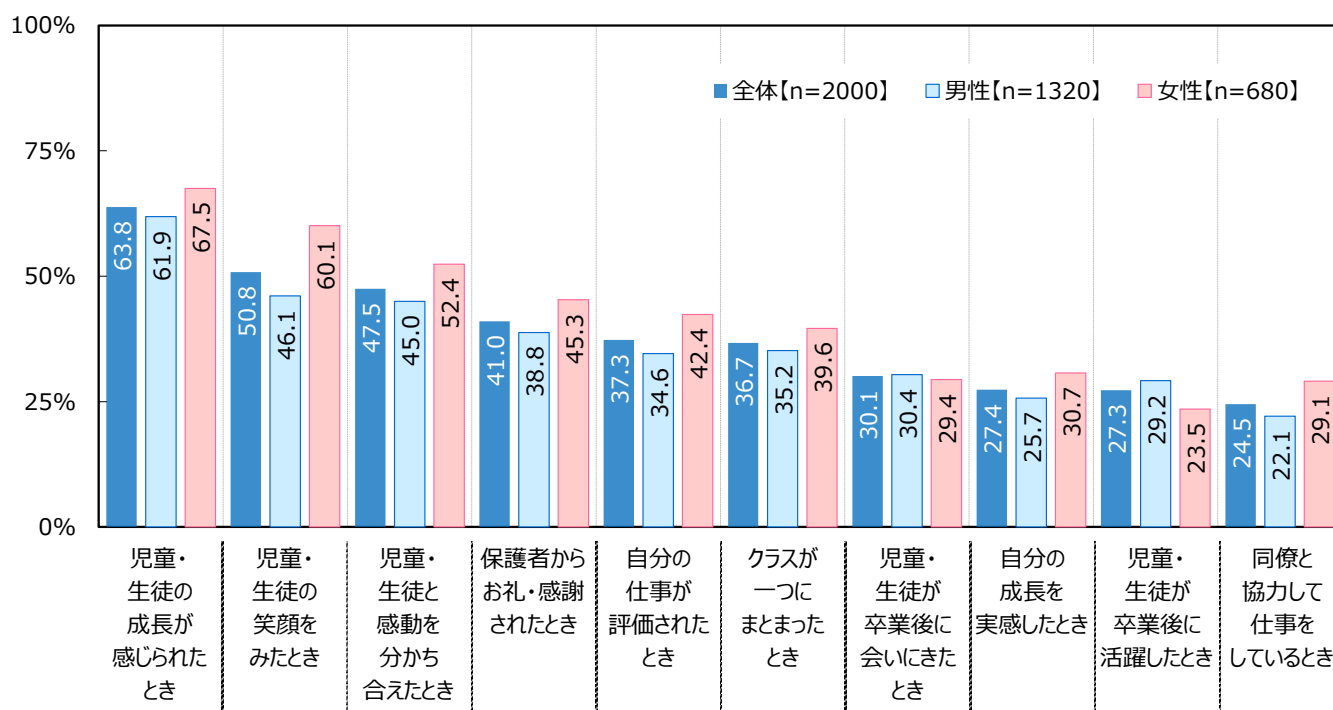
・教員としてどのようなときにやりがいを感じる？ 1 位「児童・生徒の成長が感じられたとき」

2 位「児童・生徒の笑顔をみたととき」3 位「児童・生徒と感動を分かち合えたとき」

教員としてどのようなときにやりがいを感じるか聞いたところ、「児童・生徒の成長が感じられたとき」（63.8%）が最も高くなりました。子どもの成長を間近でみられたときに、教員をしていて良かったと感じる人が多いようです。次いで高くなったのは、「児童・生徒の笑顔をみたととき」（50.8%）、「児童・生徒と感動を分かち合えたとき」（47.5%）、「保護者からお礼・感謝されたとき」（41.0%）、「自分の仕事が評価されたとき」（37.3%）でした。

男女別にみると、ほとんどの項目において男性と比べて女性のほうが高い傾向がみられました。女性は、教員として仕事をする様々な場面でやりがいを見出すことが多いのではないのでしょうか。また、女性では「児童・生徒の笑顔をみたととき」が 60.1%と、男性（46.1%）と比べて 10 ポイント以上高くなりました。

◆教員としてどのようなときにやりがいを感じるか（複数回答形式） ※上位10位までを表示



・理想の教員像 1 位「授業がわかりやすい」2 位「児童・生徒のやる気を引き出している」
20 代では「児童・生徒とのコミュニケーションが上手」が 1 位

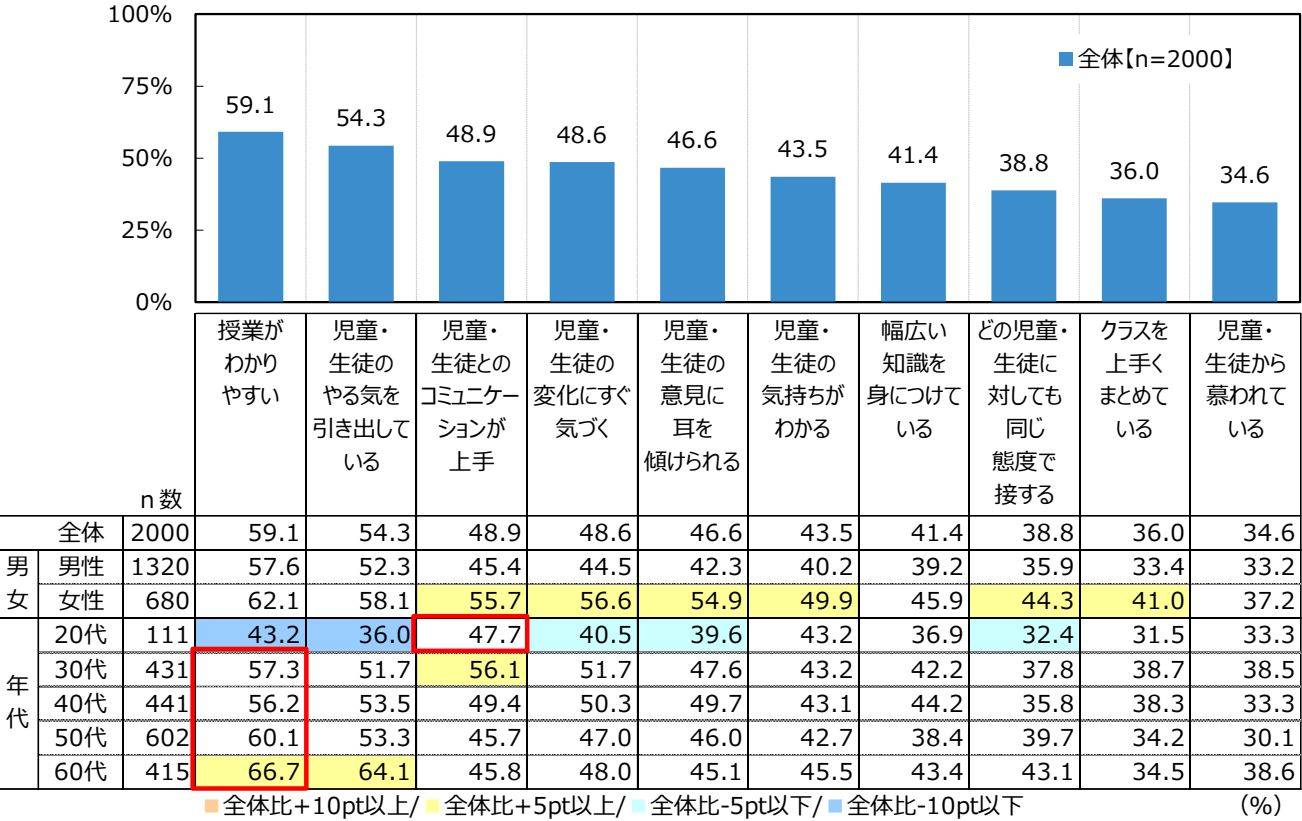
続いて、理想の教員のイメージについて質問しました。

全回答者（2,000 名）に、理想の教員像を聞いたところ、「授業がわかりやすい」（59.1%）が最も高くなり、「児童・生徒のやる気を引き出している」（54.3%）、「児童・生徒とのコミュニケーションが上手」（48.9%）、「児童・生徒の変化にすぐ気づく」（48.6%）、「児童・生徒の意見に耳を傾けられる」（46.6%）が続きました。

男女別にみると、「児童・生徒とのコミュニケーションが上手」（男性 45.4%、女性 55.7%）や「児童・生徒の変化にすぐ気づく」（男性 44.5%、女性 56.6%）、「児童・生徒の意見に耳を傾けられる」（男性 42.3%、女性 54.9%）では男性と比べて女性のほうが 10 ポイント以上高くなりました。

年代別にみると、20 代では「児童・生徒とのコミュニケーションが上手」（47.7%）が 1 位でした。

◆理想の教員像（複数回答形式） ※上位10位までを表示



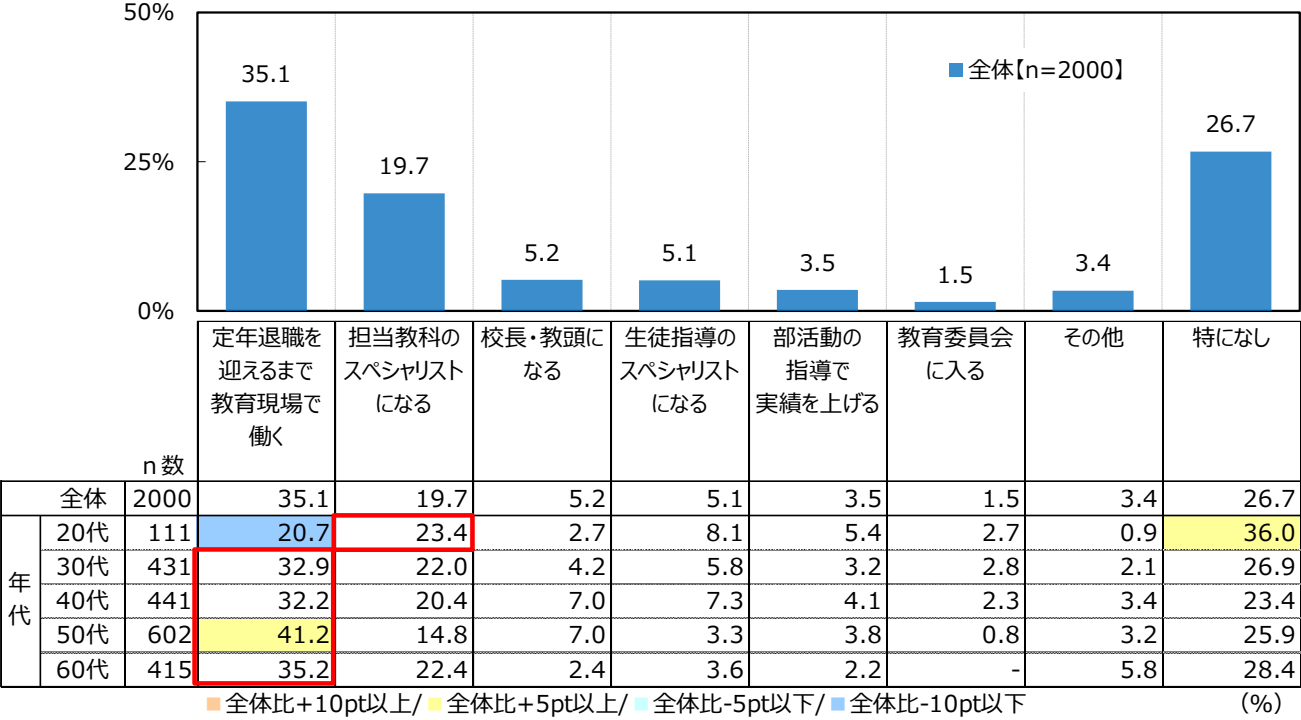
・自身の仕事についてどのようなキャリア目標を思い描いている？ 1位「定年退職を迎えるまで教育現場で働く」
20代では「担当教科のスペシャリストになる」が1位

キャリア目標について質問しました。

全回答者（2,000名）に、自身の仕事について、どのようなキャリア目標（仕事上の最終的な目標地点）を思い描いているか聞いたところ、「定年退職を迎えるまで教育現場で働く」（35.1%）が最も高くなりました。定年までバリバリ現役として現場で働き続けたいと考えている人や、教員を自身の天職と捉え、最後まで全うしたいと考えている人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「担当教科のスペシャリストになる」（19.7%）、「校長・教頭になる」（5.2%）、「生徒指導のスペシャリストになる」（5.1%）、「部活動の指導で実績を上げる」（3.5%）、「教育委員会に入る」（1.5%）、「その他」（3.4%）、「特になし」（26.7%）でした。

年代別にみると、20代では「担当教科のスペシャリストになる」（23.4%）が1位でした。

◆自身の仕事について、どのようなキャリア目標（仕事上の最終的な目標地点）を思い描いているか（単一回答形式）



・自身が思い描くキャリア目標を実現する上で苦労していること

“定年退職を迎えるまで教育現場で働く”を目標に挙げた人では「日々の忙しさ」「日々の業務での疲労困憊」「体力と気力の減退」「時代の変化に合わせた指導法の模索」など

思い描くキャリア目標がある人（1,467 名）に、自身が思い描くキャリア目標を実現する上で、苦労していることを聞いたところ、【定年退職を迎えるまで教育現場で働く】を目標に挙げた人では「日々の忙しさ」「日々の業務での疲労困憊」「体力と気力の減退」「時代の変化に合わせた指導法の模索」「家庭と仕事の両立が大変」「健康管理」といった回答があり、多忙を極める教育現場の実状や、教員生活で感じている課題・ストレスが垣間見えました。

また、【担当教科のスペシャリストになる】を目標に挙げた人では「教材研究に時間が割けない」「授業以外の仕事が多い」、【校長・教頭になる】を目標に挙げた人では「現場での経験が少ない」「昇任試験に受かること」、【生徒指導のスペシャリストになる】を挙げた人では「生徒一人一人への対応」「時代の変化への対応」、【部活動の指導で実績を上げる】を挙げた人では「部員の確保」「部活加入率の低下」、【教育委員会に入る】を挙げた人では「道筋がわからない」「二次試験の突破」といった回答がありました。

◆自身が思い描くキャリア目標を実現する上で、苦労していること（自由回答形式） ※回答を抜粋して表示

対象：思い描くキャリア目標がある人【n=1467】

定年退職を迎えるまで教育現場で働く【n=701】

- ・日々の忙しさ（男性・中学校の教員）
- ・日々の業務での疲労困憊（女性・中学校の教員）
- ・体力と気力の減退（男性・中学校の教員）
- ・時代の変化に合わせた指導法の模索（女性・小学校の教員）
- ・家庭と仕事の両立が大変（女性・中学校の教員）
- ・健康管理（男性・中学校の教員）

担当教科のスペシャリストになる【n=393】

- ・教材研究に時間が割けない（男性・高等学校の教員）
- ・授業以外の仕事が多い（男性・高等学校の教員）
- ・同僚との温度差（女性・高等学校の教員）
- ・自身のスキル不足（男性・中学校の教員）
- ・最新の専門知識の習得（男性・高等学校の教員）
- ・指導法のブラッシュアップ（女性・中学校の教員）
- ・時間が足りない（女性・中学校の教員）

校長・教頭になる【n=104】

- ・現場での経験が少ない（男性・小学校の教員）
- ・昇任試験に受かること（男性・中学校の教員）
- ・組織マネジメント（男性・特別支援学校の教員）
- ・業務量が多い（男性・高等学校の教員）
- ・私立学校ゆえのチャンスの少なさ（男性・高等学校の教員）
- ・自身のスキルアップ（男性・小学校の教員）
- ・業務をやり遂げるスピード（男性・特別支援学校の教員）

生徒指導のスペシャリストになる【n=101】

- ・制約が多い（男性・高等学校の教員）
- ・生徒一人一人への対応（男性・高等学校の教員）
- ・周りの教員の理解（男性・高等学校の教員）
- ・時代の変化への対応（男性・中学校の教員）
- ・仕事幅が広い（男性・高等学校の教員）
- ・保護者との関わり（女性・小学校の教員）
- ・他の先生との連携（男性・高等学校の教員）
- ・時間が足りない（女性・小学校の教員）
- ・子どもの自主性を引き出すこと（女性・小学校の教員）

部活動の指導で実績を上げる【n=70】

- ・部員の確保（男性・高等学校の教員）
- ・部活加入率の低下（男性・高等学校の教員）
- ・部活動の縮小化（男性・中学校の教員）
- ・活動に制約が多い（男性・高等学校の教員）
- ・協力してくれる仲間が少ない（男性・高等学校の教員）

教育委員会に入る【n=30】

- ・ワークライフバランス（男性・小学校の教員）
- ・道筋がわからない（男性・小学校の教員）
- ・二次試験の突破（女性・高等学校の教員）
- ・適切な評価の受け方（男性・中学校の教員）

◆今、一番ほしいものについて

・教員が今、一番ほしいものは？ TOP2 は「お金」「時間・自由時間」

全回答者（2,000 名）に、今、一番ほしいものを聞いたところ、男性・女性ともに TOP2 には「お金」（男性 291 名、女性 130 名）と「時間・自由時間」（男性 212 名、女性 148 名）が挙がり、男性では 3 位「自動車」（95 名）、4 位「健康」（64 名）、5 位「家」（33 名）、女性では 3 位「健康」（33 名）、4 位「家」（29 名）、5 位「休暇」（22 名）となりました。「時間・自由時間」や「休暇」、「健康」が上位に挙がっており、“業務過多・多忙”“休暇が少ない”“健康面が不安”と感じている人が多いのではないのでしょうか。

◆今、一番ほしいもの（自由回答形式） ※上位10位までを表示

	男性【n=1320】	名		女性【n=680】	名
1位	お金	291	1位	時間・自由時間	148
2位	時間・自由時間	212	2位	お金	130
3位	自動車	95	3位	健康	33
4位	健康	64	4位	家	29
5位	家	33	5位	休暇	22
6位	休暇	26	6位	自動車	19
7位	自由	23	7位	家電	13
8位	パソコン	18	8位	洋服	8
9位	若さ	12	9位	カバン	7
	旅行	12		余裕・ゆとり	7

◆業務における時短術・働き方ハックについて

・限られた時間の中で効率的に業務をこなすために取り入れている時短術・働き方ハック

1 位「優先順位をつける」2 位「ToDo リストを作る・タスク化する」3 位「隙間時間を活用する」

普段の業務の中で、どのような工夫をしている人が多いのでしょうか。

全回答者（2,000 名）に、限られた時間の中で効率的に業務をこなすために取り入れている時短術・働き方ハック（※）を聞いたところ、1 位「優先順位をつける」（84 名）、2 位「ToDo リストを作る・タスク化する」（62 名）、3 位「隙間時間を活用する」（58 名）、4 位「IT・ICT（情報通信技術）を活用する」（51 名）、5 位「朝早く出勤する」（43 名）となりました。

男女別にみると、男性では 1 位「優先順位をつける」（52 名）、2 位「隙間時間を活用する」（38 名）、3 位「IT・ICT（情報通信技術）を活用する」（37 名）、女性では 1 位「ToDo リストを作る・タスク化する」（37 名）、2 位「優先順位をつける」（32 名）、3 位「隙間時間を活用する」（20 名）となりました。

※効率・生産性を上げることを目的にした「コツ」や「ノウハウ」

◆限られた時間の中で効率的に業務をこなすために取り入れている時短術・働き方ハック（自由回答形式）

※上位10位までを表示

	全体【n=2000】	名
1位	優先順位をつける	84
2位	ToDoリストを作る・タスク化する	62
3位	隙間時間を活用する	58
4位	IT・ICT（情報通信技術）を活用する	51
5位	朝早く出勤する	43
6位	集中して取り組む	40
7位	すぐに仕事に取り掛かる	36
8位	時間を決めて仕事をする	34
9位	過去の教材・資料を活用する	33
10位	定時に帰る・早く帰る	30

	男性【n=1320】	名
1位	優先順位をつける	52
2位	隙間時間を活用する	38
3位	IT・ICT（情報通信技術）を活用する	37
4位	集中して取り組む	30
5位	時間を決めて仕事をする	28
6位	朝早く出勤する	27
7位	ToDoリストを作る・タスク化する	25
8位	定時に帰る・早く帰る	21
9位	すぐに仕事に取り掛かる	20
10位	早めに仕事を進める	19
	必要のないことはしない	19

	女性【n=680】	名
1位	ToDoリストを作る・タスク化する	37
2位	優先順位をつける	32
3位	隙間時間を活用する	20
4位	すぐに仕事に取り掛かる	16
	朝早く出勤する	16
6位	過去の教材・資料を活用する	15
7位	IT・ICT（情報通信技術）を活用する	14
8位	周囲と協力・分担する	12
9位	先の見通しを立てる	11
10位	集中して取り組む	10

◆部活動の地域移行について

・部活動の地域移行に期待していること

1 位「教員の負担が減る」2 位「地域の専門的指導者の指導を受けられる」3 位「子どもたちの選択肢が増える」

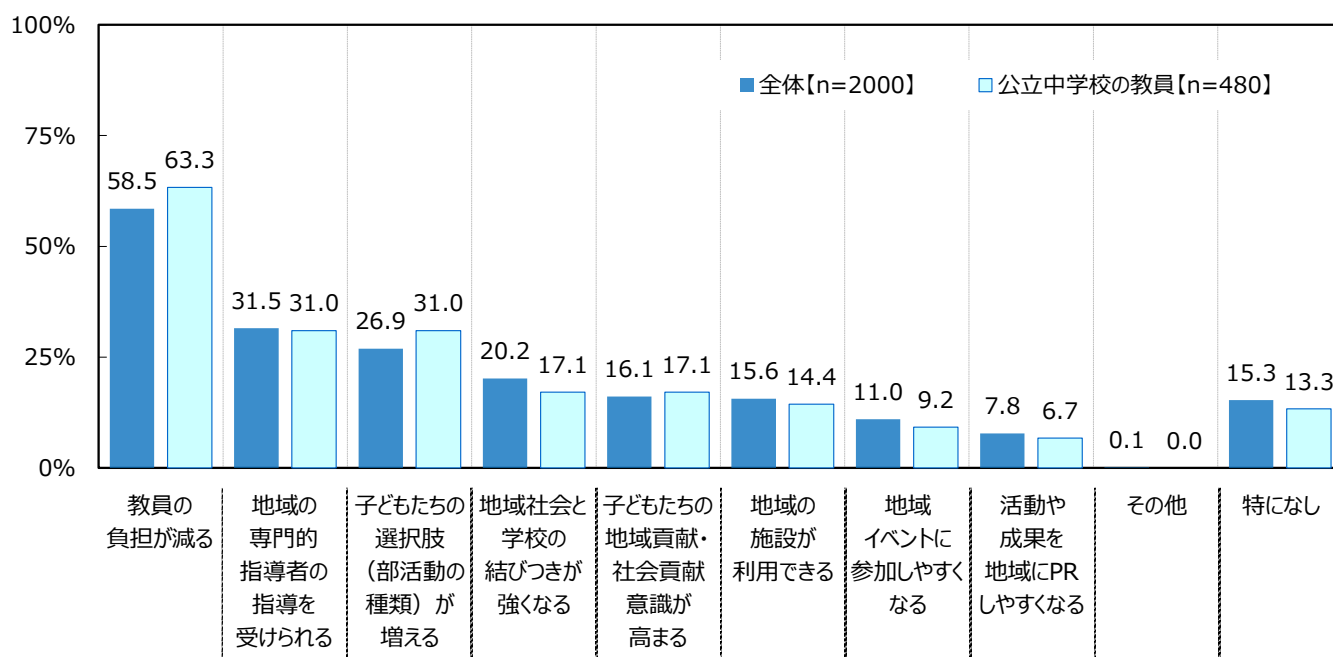
公立中学校の教員の 63%が「教員の負担が減る」と期待

部活動の地域移行について質問しました。部活動の地域移行とは、働き方改革の推進や少子化対策の観点から、主に公立中学校の運動部を対象に、部活動の指導を地域の団体など学校以外の主体が担うようにすることをいいます。

全回答者（2,000 名）に、部活動の地域移行について、どのようなことを期待しているか聞いたところ、「教員の負担が減る」（58.5%）が突出して高くなりました。部活動の指導などに費やす時間が減り、教員の負担減少を図ることができると期待している人が多いようです。次いで高くなったのは、「地域の専門的指導者の指導を受けられる」（31.5%）、「子どもたちの選択肢（部活動の種類）が増える」（26.9%）でした。専門的な指導を受ける機会の創出や選択肢の増加など、子どもにとってのメリットを期待している人も多いことがわかりました。以降、「地域社会と学校の結びつきが強くなる」（20.2%）、「子どもたちの地域貢献・社会貢献意識が高まる」（16.1%）が続きました。

公立中学校の教員（480 名）についてみると、「教員の負担が減る」は 63.3%と、全体（58.5%）と比べて 4.8 ポイント高くなりました。

◆部活動の地域移行について、どのようなことを期待しているか（複数回答形式）



◆教育現場への対話型 AI の導入について

・「対話型 AI の教育現場への導入は児童・生徒の“授業中の学習”にメリットのほうが大きいと思う」55%、
 “宿題や課題への取り組み”では 46%、“自学自習”では 60%がメリットのほうが大きいと回答

・「対話型 AI の教育現場への導入は教員の“授業の事前準備”にメリットのほうが大きいと思う」73%、
 “授業中の説明”では 67%、“成績表や調査書の評価コメント作成”では 68%がメリットのほうが大きいと回答

全回答者（2,000 名）に、対話型 AI（ChatGPT など）の教育現場への導入について、メリットとデメリットではどちらが大きいと思うかをシーンごとに質問しました。

児童・生徒において、【授業中の学習】では、「非常にメリットのほうが大きい」が 8.4%、「どちらかといえばメリットのほうが大きい」が 46.2%で合計した『メリットのほうが大きい（計）』は 54.6%、「非常にデメリットのほうが大きい」が 9.8%、「どちらかといえばデメリットのほうが大きい」が 35.7%で合計した『デメリットのほうが大きい（計）』は 45.4%となりました。

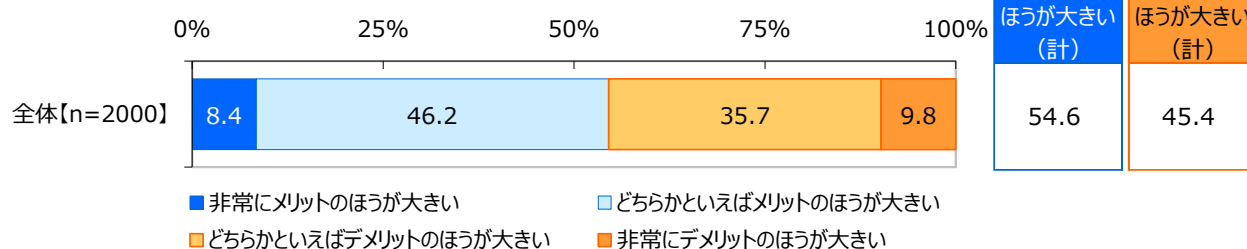
【宿題や課題への取り組み】では『メリットのほうが大きい（計）』は 46.0%、『デメリットのほうが大きい（計）』は 54.0%と、導入に消極的な考えを持つ人が多数派となりました。

【自学自習】では『メリットのほうが大きい（計）』は 60.0%、『デメリットのほうが大きい（計）』は 40.0%となりました。

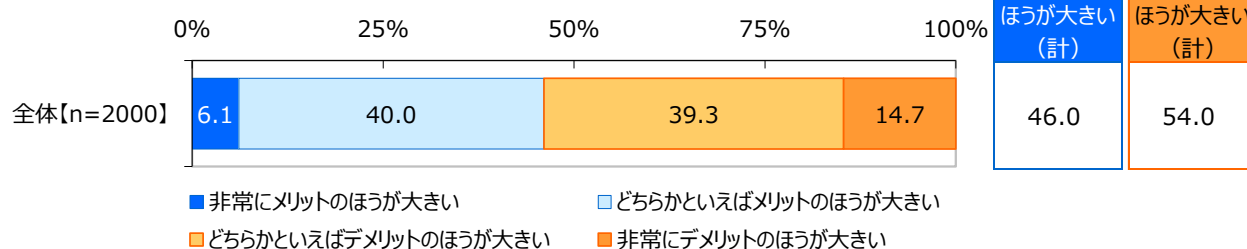
自身で課題を考えたり、興味を持ったものについて深掘りをしたりするような能動的な学習においてはメリットが大きいと考える人が多いのではないのでしょうか。

◆対話型AI（ChatGPTなど）の教育現場への導入について、メリットとデメリットではどちらが大きいと思うか（各単一回答形式）

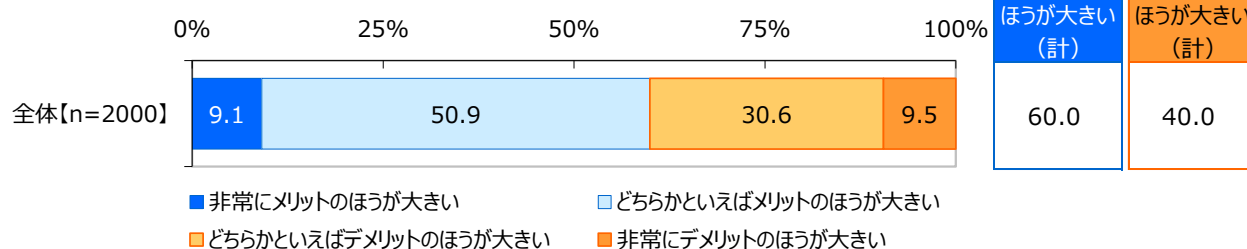
（児童・生徒において）授業中の学習



（児童・生徒において）宿題や課題への取り組み



（児童・生徒において）自学自習

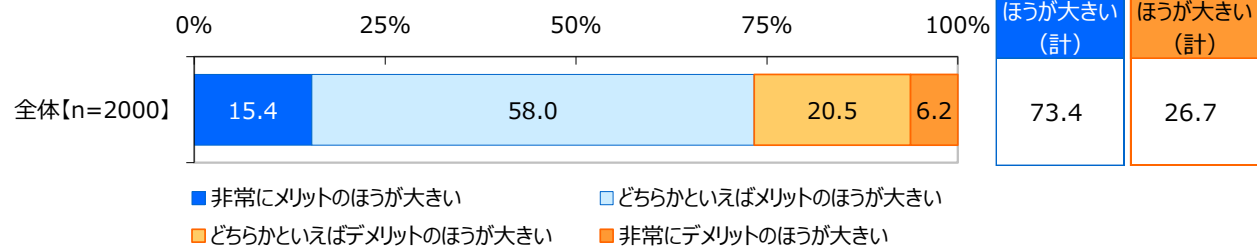


他方、教員において、【授業の事前準備】では、『メリットのほう大きい（計）』は 73.4%、『デメリットのほう大きい（計）』は 26.7%となりました。対話型 AI を活用することで、授業に向けた準備を効率良く進めることができると考えている人が多いのではないのでしょうか。

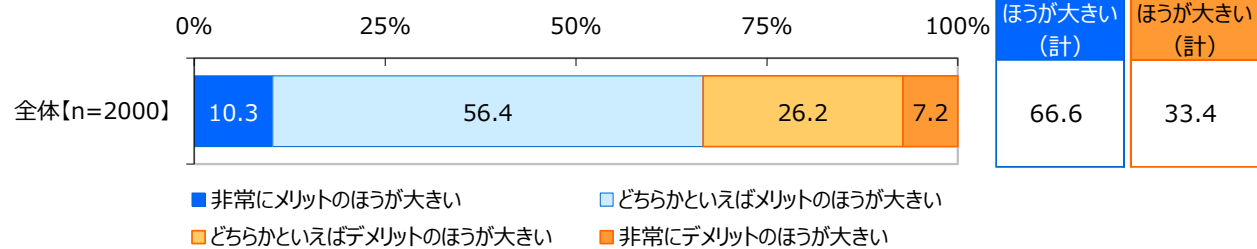
【授業中の説明】では『メリットのほう大きい（計）』は 66.6%、『デメリットのほう大きい（計）』は 33.4%、【成績表や調査書の評価コメント作成】では『メリットのほう大きい（計）』は 68.0%、『デメリットのほう大きい（計）』は 32.0%と、どちらも導入に肯定的な考えを持つ人が多数派となりました。

◆対話型AI（ChatGPTなど）の教育現場への導入について、メリットとデメリットではどちらが大きいと思うか（各単一回答形式）

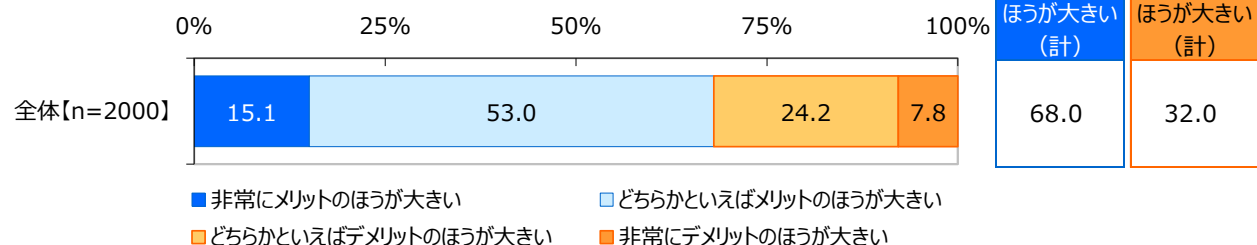
（教員において）授業の事前準備



（教員において）授業中の説明



（教員において）成績表や調査書の評価コメント作成



◆子どもたちからもらうコトバについて

・児童・生徒から言われて最もうれしかったコトバ TOP5

「ありがとう」「先生が担任・担当でよかった」「授業がわかりやすかった」「授業が楽しかった」「先生のおかげです」

学校生活で子どもたちからもらうコトバについて質問しました。

全回答者（2,000名）に、児童・生徒から言われて最もうれしかったコトバを聞いたところ、「ありがとう」（556名）がダントツとなりました。教え子から感謝の気持ちを伝えられ、胸がいっぱいになった人が多いのではないのでしょうか。次いで、2位「先生が担任・担当でよかった」（148名）、3位「授業がわかりやすかった」（84名）、4位「授業が楽しかった」（73名）、5位「先生のおかげです」（65名）となりました。

男女別にみると、男女とも1位は「ありがとう」（男性437名、女性119名）、2位は「先生が担任・担当でよかった」（男性92名、女性56名）となり、男性の3位は「授業がわかりやすかった」（62名）、女性の3位は「好き・大好き」（41名）でした。

最もうれしかったコトバをもらったときの状況・エピソードをみると、男女ともに1位の「ありがとう」では「卒業式で卒業生からサプライズで」や「部活動の大会で優勝したとき」、「卒業式の最後の学活で」、「児童の困りごとを解決したとき」、2位の「先生が担任・担当でよかった」では「進路を決めたときや卒業式のとき」や「年度終了が近づいたとき」、「クラス発表の場で」、「卒業後に会いに来てくれたとき」といった回答がありました。

◆児童・生徒から言われて最もうれしかったコトバ（自由回答形式） ※上位10位までを表示

	全体【n=2000】	名
1位	ありがとう	556
2位	先生が担任・担当でよかった	148
3位	授業がわかりやすかった	84
4位	授業が楽しかった	73
5位	先生のおかげです	65
6位	勉強がわかった	58
7位	好き・大好き	54
8位	先生にまた担任になってほしい	38
9位	先生みたいになりたい	33
10位	先生に出会えてよかった	26

	男性【n=1320】	名	状況・エピソード（抜粋）
1位	ありがとう	437	卒業式で卒業生からサプライズで/部活動の大会で優勝したとき
2位	先生が担任・担当でよかった	92	進路を決めたときや卒業式のとき/年度終了が近づいたとき
3位	授業がわかりやすかった	62	学年の終わりにメッセージカードで/授業の後に
4位	先生のおかげです	43	希望の進路につくことができたとき
5位	勉強がわかった	39	個別の指導を継続して、成果が見られたとき
6位	授業が楽しかった	36	しっかりと教材研究をした授業で
7位	先生にまた担任になってほしい	16	年度末に、子どもたちが来年度について話していたとき
8位	先生に出会えてよかった	14	卒業後にもらった手紙に書いてあった
	先生みたいになりたい	14	卒業生を受け持ったときに、卒業記念のスピーチで
10位	好き・大好き	13	卒業するときに、生徒からもらった寄せ書きで
	女性【n=680】	名	状況・エピソード（抜粋）
1位	ありがとう	119	卒業式の最後の学活で/児童の困りごとを解決したとき
2位	先生が担任・担当でよかった	56	クラス発表の場で/卒業後に会いに来てくれたとき
3位	好き・大好き	41	日常過ごしているふとした瞬間に/卒業生を送り出すとき
4位	授業が楽しかった	37	放課後、雑談をしていたとき/取り組みやすいように教材を工夫したとき
	授業がわかりやすかった	22	授業中、教科を教えているとき
5位	先生にまた担任になってほしい	22	クラス替えを控えているとき
	先生のおかげです	22	不登校で悩んでいた生徒が進学したとき
8位	先生みたいになりたい	19	卒業式で将来の夢を語る時
	勉強がわかった	19	勉強が苦手な子が少しずつわかるようになってきたとき
10位	学校が楽しい・楽しかった	15	卒業式の最終学活で

・児童・生徒から言われて最もへこんだコトバ TOP5

**「説明がわかりにくい・わからない」「面白くない・つまらない」「嫌い」「先生はわかっていない・わからない」
「他の先生のほうがよかった」**

他方、児童・生徒から言われて最もへこんだ（落ち込んだ）コトバを聞いたところ、1 位「説明がわかりにくい・わからない」（98 名）、2 位「面白くない・つまらない」（59 名）、3 位「嫌い」（54 名）、4 位「先生はわかっていない・わからない」（45 名）、5 位「他の先生のほうがよかった」（43 名）となりました。教員と児童・生徒の思いがすれ違い、児童・生徒が心のままに発してしまったストレートなコトバに傷ついた経験のある人が多いのではないのでしょうか。

男女別にみると、男女とも 1 位は「説明がわかりにくい・わからない」（男性 72 名、女性 26 名）で、男性の 2 位は「面白くない・つまらない」（39 名）、3 位は「嫌い」（32 名）、女性の 2 位は「嫌い」（22 名）、3 位は「面白くない・つまらない」（20 名）となりました。

最もへこんだコトバを言われたときの状況・エピソードをみると、男女ともに 1 位の「説明がわかりにくい・わからない」では「いろいろ説明した授業の終了直後」や「うまく解説ができなかったとき」、「難しい問題のやり方を説明したとき」、「教員 1 年目で授業がうまくいかなかったとき」といった回答がありました。

◆児童・生徒から言われて最もへこんだ（落ち込んだ）コトバ（自由回答形式） ※上位10位までを表示

	全体【n=2000】	名
1位	説明がわかりにくい・わからない	98
2位	面白くない・つまらない	59
3位	嫌い	54
4位	先生はわかっていない・わからない	45
5位	他の先生のほうがよかった	43
6位	うざい	26
7位	信用できない	23
8位	ひいきしている	22
	先生のせいで	22
10位	うるさい	18

	男性【n=1320】	名	状況・エピソード（抜粋）
1位	説明がわかりにくい・わからない	72	いろいろ説明した授業の終了直後/うまく解説ができなかったとき
2位	面白くない・つまらない	39	授業の感想で/学力が身につかない学習になってしまったとき
3位	嫌い	32	厳しく指導したあと/クラスの運営がうまくいかなかったとき
4位	先生はわかっていない・わからない	27	生徒の相談を受けているとき
5位	他の先生のほうがよかった	24	転勤でいなくなった先生の後赴任したとき
6位	ひいきしている	17	子どもを注意したとき
	信用できない	17	生徒指導の途中で
	先生のせいで	17	意図が伝わらずうまく行かないとき
9位	うざい	12	挨拶をしなさいと注意したとき
10位	うるさい	9	児童の態度について指導をしたとき
	女性【n=680】	名	状況・エピソード（抜粋）
1位	説明がわかりにくい・わからない	26	難しい問題のやり方を説明したとき/教員1年目で授業がうまくいかなかったとき
2位	嫌い	22	悪ふざけを注意したとき/生徒指導で
3位	面白くない・つまらない	20	授業がうまくいかないとき/生徒が書く授業評価で
4位	他の先生のほうがよかった	19	前任者と指導の仕方が違ったとき
5位	先生はわかっていない・わからない	18	やってはいけないことをした児童を指導したとき
6位	うざい	14	心を開かせようと何度も話しかけたとき
7位	うるさい	9	生徒に何度も注意をしたとき
8位	来ないで・あっち行って	7	脱走している子を追いかけていたとき
9位	信用できない	6	さまざまな悩みを抱えている生徒の話を聞きたいと思って声をかけたとき
	ひいきしている	5	クラスがまとまらなかったとき
10位	やりたくない・やらない	5	教材に取り組んでくれなかったとき
	先生のせいで	5	子どもが頑張っていることを失敗したとき

◆子どもたちに身につけてほしいことについて

・児童・生徒に身につけてほしいこと 1位「優しさ・思いやり」2位「社会のルール・マナー」3位「コミュニケーション能力」

高等学校の教員では「社会のルール・マナー」が1位

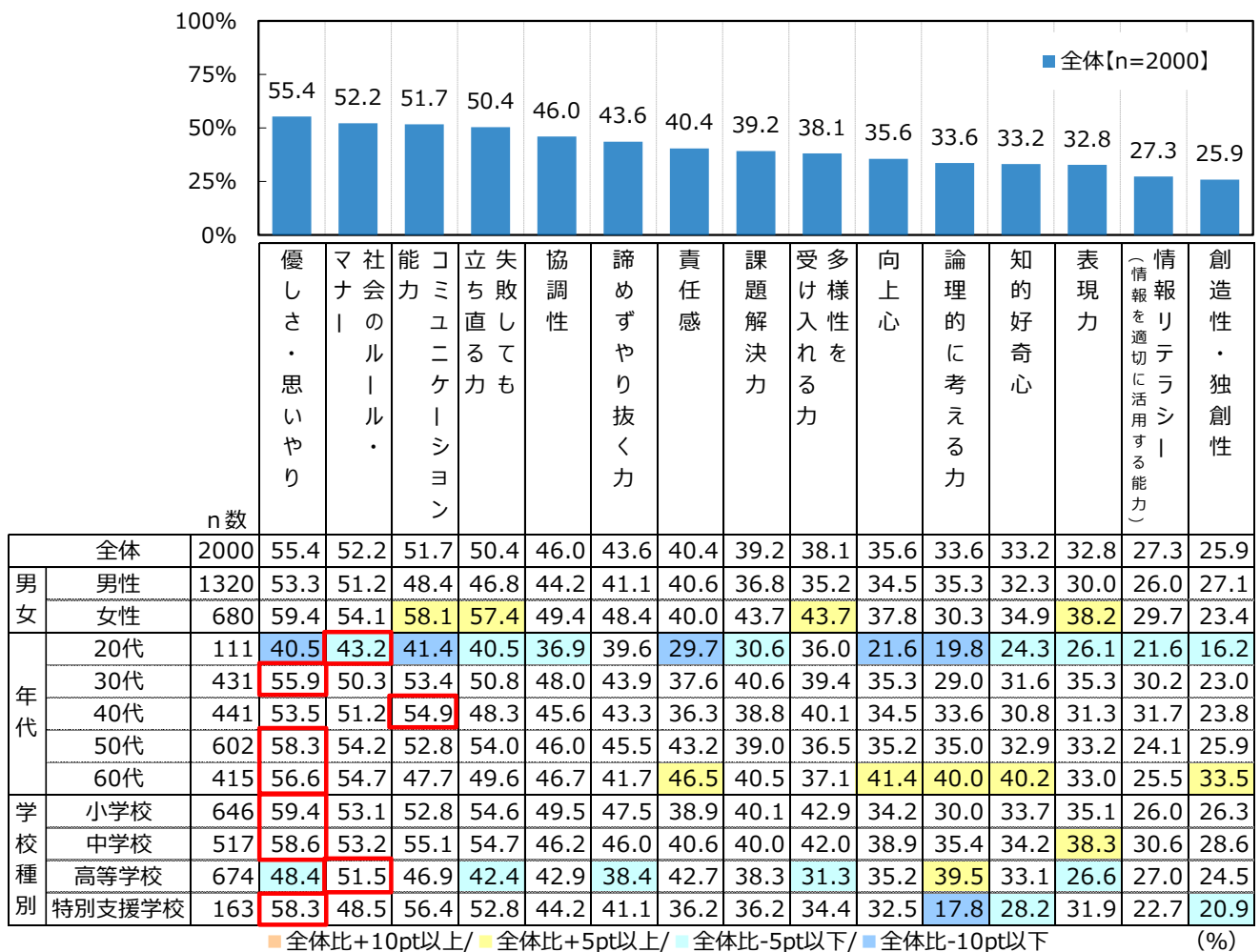
全回答者（2,000名）に、児童・生徒に身につけてほしいと思うことを聞いたところ、「優しさ・思いやり」（55.4%）が最も高くなり、「社会のルール・マナー」（52.2%）、「コミュニケーション能力」（51.7%）、「失敗しても立ち直る力」（50.4%）、「協調性」（46.0%）が続きました。また、「課題解決力」（39.2%）や「論理的に考える力」（33.6%）、「知的な好奇心」（33.2%）、「表現力」（32.8%）、「創造性・独創性」（25.9%）といった“STEAM教育”に関連するものもTOP15に挙がりました。AIなど急速な技術の進展により変化する社会で活躍できるよう、各教科の学びを基盤にし、様々な情報を活用・統合する力や課題を発見・解決する力を身につけるためのSTEAM教育はもちろん重要だと考えるが、社会生活や人との関係づくりに欠かせない、優しさ・思いやりやマナー、コミュニケーション能力などをより一層重視する人が多いのではないのでしょうか。

男女別にみると、女性では「失敗しても立ち直る力」が57.4%と、男性（46.8%）と比べて10ポイント以上高くなりました。

年代別にみると、20代では「社会のルール・マナー」（43.2%）、40代では「コミュニケーション能力」（54.9%）が1位でした。

勤務先の学校種別でみると、高等学校の教員では「社会のルール・マナー」（51.5%）が1位でした。

◆児童・生徒に身につけてほしいと思うこと（複数回答形式）※上位15位までを表示



◆子どもに薦めたいテレビ番組・映画・YouTube チャンネルについて

・児童・生徒に最も薦めたいテレビ番組

1 位「新プロジェクト X～挑戦者たち～」2 位「世界の果てまでイッテ Q！」3 位「チョコちゃんに叱られる！」
20 代・30 代では「世界の果てまでイッテ Q！」が 1 位

子どもに薦めたいテレビ番組や映画、YouTubeチャンネルについて質問しました。

全回答者（2,000 名）に、児童・生徒に最も薦めたいテレビ番組のタイトルを聞いたところ、1 位「新プロジェクト X～挑戦者たち～」（66 名）、2 位「世界の果てまでイッテ Q！」（35 名）、3 位「チョコちゃんに叱られる！」（24 名）、4 位「サンドウィッチマン&芦田愛菜の博士ちゃん」「ダーウィンが来た！」（いずれも 21 名）となりました。また、9 位には「3 年 B 組金八先生」（16 名）が挙がっており、長きにわたり評価されていることや根強い人気があることがうかがえます。

TOP3 となった回答について、薦めたいと思う理由をみると、1 位の「新プロジェクト X～挑戦者たち～」では「諦めないことの大切さを教えてくれる」、2 位の「世界の果てまでイッテ Q！」では「チャレンジすることの大切さを学べる」、3 位の「チョコちゃんに叱られる！」では「いろいろな分野について知ることができる」といった回答がありました。

年代別にみると、20代と30代では「世界の果てまでイッテQ！」（20代7名、30代12名）、40代以上では「新プロジェクトX～挑戦者たち～」（40代14名、50代33名、60代16名）が1位でした。

◆児童・生徒に最も薦めたいテレビ番組のタイトル・薦めたいと思う理由（自由回答形式）

※全体の結果は上位10位、年代別の結果は上位3位までを表示

	全体【n=2000】	名	理由（抜粋）
1位	新プロジェクトX～挑戦者たち～	66	諦めないことの大切さを教えてくれる
2位	世界の果てまでイッテQ！	35	チャレンジすることの大切さを学べる
3位	チョコちゃんに叱られる！	24	いろいろな分野について知ることができる
4位	サンドウィッチマン&芦田愛菜の博士ちゃん	21	毎回興味深いテーマで知識を深められる
	ダーウィンが来た！	21	自然界の素晴らしさを知ることができる
6位	クイズ！あなたは小学5年生より賢いの？	19	基礎学力が問われる内容のクイズ番組である
7位	映像の世紀シリーズ	18	歴史の勉強になる
8位	ピタゴラスイッチ	17	論理的思考を養える
9位	3年B組金八先生	16	人間味が溢れている
10位	NHK for School	15	楽しんで学習できる
	ザ！鉄腕！DASH!!	15	楽しみながらSDGsが学べる

	20代【n=111】	名		30代【n=431】	名
1位	世界の果てまでイッテQ！	7	1位	世界の果てまでイッテQ！	12
2位	くりむクイズ ミラクル9	3	2位	クイズ！あなたは小学5年生より賢いの？	10
	ZIP!	2	3位	ダーウィンが来た！	8
3位	クイズ！あなたは小学5年生より賢いの？	2			
	名探偵コナン	2			

	40代【n=441】	名		50代【n=602】	名		60代【n=415】	名
1位	新プロジェクトX～挑戦者たち～	14	1位	新プロジェクトX～挑戦者たち～	33	1位	新プロジェクトX～挑戦者たち～	16
2位	世界の果てまでイッテQ！	12	2位	サンドウィッチマン&芦田愛菜の博士ちゃん	11	2位	3年B組金八先生	10
3位	情熱大陸	6	3位	チョコちゃんに叱られる！	8	3位	チョコちゃんに叱られる！	8

・児童・生徒に最も薦めたい映画

1 位「ドラえもん」2 位「ショーシャンクの空に」3 位「となりのトトロ」

20 代・30 代では「名探偵コナン」、40 代では「スラムダンク」、50 代では「いまを生きる」が 1 位

児童・生徒に最も薦めたい映画のタイトルを聞いたところ、1 位「ドラえもんシリーズ」（27 名）、2 位「ショーシャンクの空に」（26 名）、3 位「となりのトトロ」（25 名）、4 位「名探偵コナンシリーズ」（21 名）、5 位「いまを生きる」（20 名）となりました。

TOP3 となった回答について、薦めたいと思う理由をみると、1 位の「ドラえもんシリーズ」では「思いやりの大切さを伝えたい」、2 位の「ショーシャンクの空に」では「生きる信念や自由の素晴らしさを学べる」、3 位の「となりのトトロ」では「人を思いやる気持ちを感じることができる」といった回答がありました。

年代別にみると、20代と30代では「名探偵コナンシリーズ」（20代5名、30代11名）、40代では「スラムダンクシリーズ」（8名）、50代では「いまを生きる」（10名）、60代では「となりのトトロ」（11名）が1位でした。

◆児童・生徒に最も薦めたい映画のタイトル・薦めたいと思う理由（自由回答形式）

※全体の結果は上位10位、年代別の結果は上位3位までを表示

	全体【n=2000】	名	理由（抜粋）
1位	ドラえもんシリーズ	27	思いやりの大切さを伝えたい
2位	ショーシャンクの空に	26	生きる信念や自由の素晴らしさを学べる
3位	となりのトトロ	25	人を思いやる気持ちを感じることができる
4位	名探偵コナンシリーズ	21	面白く、夢が持てると思う
5位	いまを生きる	20	教師と生徒の理想の関係が描かれていると思う
6位	サウンド・オブ・ミュージック	16	人の温かさを感じられる
	火垂るの墓	16	戦争の悲惨さを考えてほしい
8位	スラムダンクシリーズ	15	頑張ることの大切さがわかる
	アルマゲドン	13	命の尊さを感じることができる
9位	ハリー・ポッターシリーズ	13	友情の大切さを学べる
	フォレスト・ガンプ/一期一会	13	突き詰めることの大切さを学べる

	20代【n=111】	名		30代【n=431】	名
1位	名探偵コナンシリーズ	5	1位	名探偵コナンシリーズ	11
	ONE PIECEシリーズ	2	2位	ドラえもんシリーズ	9
	グレイテスト・ショーマン	2	3位	となりのトトロ	8
2位	クレヨンしんちゃんシリーズ	2			
	トイ・ストーリーシリーズ	2			
	最強のふたり	2			

	40代【n=441】	名		50代【n=602】	名		60代【n=415】	名
1位	スラムダンクシリーズ	8	1位	いまを生きる	10	1位	となりのトトロ	11
2位	ドラえもんシリーズ	7	2位	バック・トゥ・ザ・フューチャー	9	2位	ショーシャンクの空に	6
3位	いまを生きる	6	3位	ショーシャンクの空に	8	3位	ゴジラシリーズ	5
	サウンド・オブ・ミュージック	6		火垂るの墓	8		男はつらいよシリーズ	5

・児童・生徒に最も薦めたい YouTube チャンネル

1 位「HikakinTV」2 位「QuizKnock」3 位「中田敦彦の YouTube 大学 - NAKATA UNIVERSITY」

児童・生徒に最も薦めたい YouTube チャンネルを聞いたところ、1 位「HikakinTV」（16 名）、2 位「QuizKnock」（14 名）、3 位「中田敦彦の YouTube 大学 - NAKATA UNIVERSITY」（12 名）、4 位「小島よしおのおっぱぴー小学校」（11 名）、5 位「エガちゃんねる EGA-CHANNEL」「とある男が授業をしてみた」（いずれも 6 名）となりました。

TOP3 となった回答について、薦めたいと思う理由をみると、1 位の「HikakinTV」では「思いやりがあり、ためにもなる」、2 位の「QuizKnock」では「知識があることの楽しさがわかる」、3 位の「中田敦彦の YouTube 大学 - NAKATA UNIVERSITY」では「教養を身につけることの素晴らしさがわかる」といった回答がありました。

◆児童・生徒に最も薦めたい YouTube チャンネル・薦めたいと思う理由（自由回答形式）

※上位10位までを表示

	全体【n=2000】	名	理由（抜粋）
1位	HikakinTV	16	思いやりがあり、ためにもなる
2位	QuizKnock	14	知識があることの楽しさがわかる
3位	中田敦彦のYouTube大学 - NAKATA UNIVERSITY	12	教養を身につけることの素晴らしさがわかる
4位	小島よしおのおっぱぴー小学校	11	楽しく学習できる
5位	エガちゃんねる EGA-CHANNEL	6	笑いでストレスフリーな状態にしてくれる
	とある男が授業をしてみた	6	丁寧に作られていて、わかりやすく、ためになる
7位	ハラミちゃん(harami_piano)	5	音楽を楽しめる
	山田五郎 オトナの教養講座	5	アート系の雑学を深掘りできる
9位	予備校のノリで学ぶ「大学の数学・物理」	4	勉強になる
	Kevin's English Room / 掛山ケビ志郎	3	実践的でわかりやすい
	『あいうえおフォニックス』英語発音	3	英語の基礎をわかりやすく教えている
10位	バイリンガル英会話 Bilingirl Chika	3	英語を楽しく学べる
	よみい	3	音楽の素晴らしさを感じられる
	映像授業 Try IT (トライット)	3	学習のポイントが押さえられている

◆日本人としてのアイデンティティの育成について

・児童・生徒が日本人としてのアイデンティティを育むために必要だと思うこと

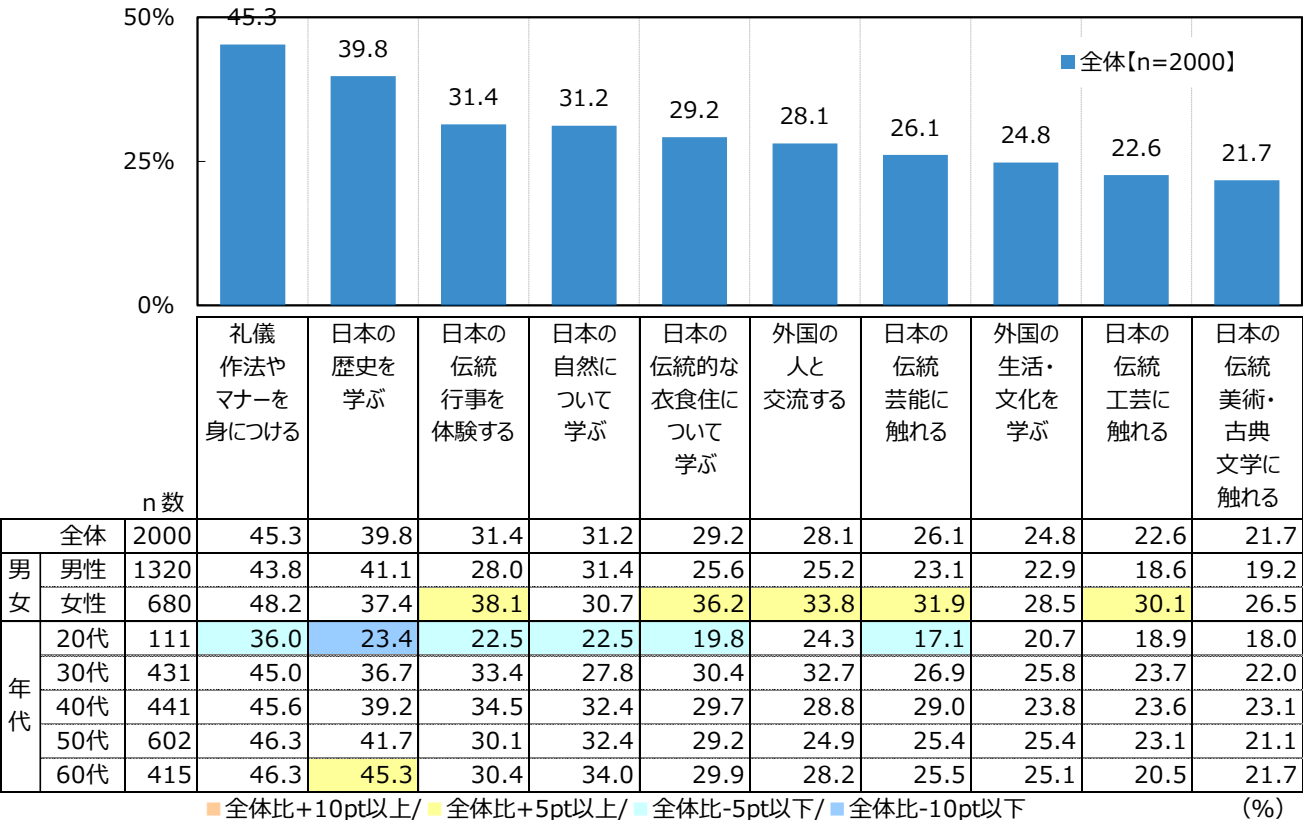
1 位「礼儀作法やマナーを身につける」2 位「日本の歴史を学ぶ」3 位「日本の伝統行事を体験する」
「日本の歴史を学ぶ」は年代が上がるにつれ高くなる傾向

全回答者（2,000 名）に、児童・生徒が日本人としてのアイデンティティを育むためには、どのようなことが必要だと思うか聞いたところ、「礼儀作法やマナーを身につける」（45.3％）が最も高くなりました。これから世界で活躍していくにあたっては、自己主張をしっかりとすることが大切である一方で、日本人として最低限の土台となる礼儀作法やマナー、相手への気遣いといったものが必要だと考えている人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「日本の歴史を学ぶ」（39.8％）、「日本の伝統行事を体験する」（31.4％）、「日本の自然について学ぶ」（31.2％）、「日本の伝統的な衣食住について学ぶ」（29.2％）でした。

男女別にみると、「日本の伝統行事を体験する」（男性 28.0％、女性 38.1％）や「日本の伝統的な衣食住について学ぶ」（男性 25.6％、女性 36.2％）、「日本の伝統工芸に触れる」（男性 18.6％、女性 30.1％）では男性と比べて女性のほうが 10 ポイント以上高くなりました。

年代別にみると、「日本の歴史を学ぶ」は 20 代 23.4％、30 代 36.7％、40 代 39.2％、50 代 41.7％、60 代 45.3％と、年代が上がるにつれ高くなる傾向がみられました。人生経験を積むにつれて、自身のルーツをしっかりと確認することの重要性を認識し、歴史について深く知ることが欠かせないと思うようになるのではないのでしょうか。

◆児童・生徒が日本人としてのアイデンティティを育むためには、どのようなことが必要だと思うか（複数回答形式） ※上位10位までを表示



■全体比+10pt以上/ ■全体比+5pt以上/ ■全体比-5pt以下/ ■全体比-10pt以下

◆“しくじりエピソード”について

・教育現場でやってしまった“しくじり・失敗エピソード”「教員になって初めての授業参観の日に寝坊」

「配布物の配り忘れ」「大量の印刷ミス」「家庭訪問期間中に一軒とばす」「会議中に寝てしまい、寝言」

「試験問題の採点ミスで生徒の成績順位がずれる」「保護者懇談会をダブルブッキング」「生徒の名前間違え」など

教育現場での失敗について質問しました。

全回答者（2,000 名）に、教育現場でやってしまった“しくじりエピソード”（失敗エピソード）を聞いたところ、【授業】に関するエピソードでは「間違ったことを教えてしまいやり直した」「同じ授業を 2 回してしまった」「教員になって初めての授業参観の日に寝坊した」「授業のクラスを間違えて入った」、【普段の業務（授業以外）】に関するエピソードでは「成績のつけ間違いをした」「配布物を配り忘れた」「大量の印刷ミスをした」「家庭訪問期間中に一軒とばしてしまった」「会議中に寝てしまい、寝言を言ってしまった」「試験問題の採点ミスで、生徒の成績順位がずれた」、【保護者対応】に関するエピソードでは「保護者懇談会をダブルブッキングしてしまった」「保護者を怒らせた」「熱い指導をしてしまい保護者からクレームが来た」といった回答がありました。

また、【児童・生徒指導】に関するエピソードでは「感情的に指導してしまった」「確認が不十分な状態で指導した」「生徒の失敗についてフォローできなかった」、【児童・生徒との関係・コミュニケーション】に関するエピソードでは「生徒との距離感を見誤った」「子どもの能力以上のことをさせようとしてしまった」「良かれと思って気かけすぎた」「家庭内のことまで踏み込んでしまった」「生徒の名前を間違えた」「受け持ちの児童の名前を忘れた」といった回答がありました。

◆教育現場でやってしまった“しくじりエピソード”（失敗エピソード）（自由回答形式） ※回答を抜粋して表示

授業

- ・間違ったことを教えてしまいやり直した（女性・小学校の教員）
- ・同じ授業を2回してしまった（男性・高等学校の教員）
- ・教員になって初めての授業参観の日に寝坊した（女性・小学校の教員）
- ・誤った知識を披露した（男性・高等学校の教員）
- ・授業のクラスを間違えて入った（男性・中学校の教員）
- ・特別日課であることを忘れていて
参観日に遅刻した（男性・小学校の教員）

普段の業務（授業以外）

- ・成績のつけ間違いをした（男性・中学校の教員）
- ・配布物を配り忘れた（女性・小学校の教員）
- ・大量の印刷ミスをした（男性・高等学校の教員）
- ・家庭訪問期間中に一軒とばしてしまった（女性・小学校の教員）
- ・会議中に寝てしまい、寝言を言ってしまった（女性・特別支援学校の教員）
- ・曜日を間違えて給食をキャンセルしてしまった（男性・小学校の教員）
- ・部活の大会の日に寝坊した（女性・中学校の教員）
- ・試験問題の採点ミスで、
生徒の成績順位がずれた（男性・高等学校の教員）

保護者対応

- ・保護者懇談会をダブルブッキングしてしまった（女性・中学校の教員）
- ・保護者を怒らせた（男性・小学校の教員）
- ・熱い指導をしてしまい保護者からクレームが来た（男性・高等学校の教員）
- ・保護者への連絡をすっかり忘れた（男性・高等学校の教員）

児童・生徒指導

- ・感情的に指導してしまった（男性・高等学校の教員）
- ・確認が不十分な状態で指導した（男性・高等学校の教員）
- ・若いころ、勢いだけで指導していた（男性・中学校の教員）
- ・生徒の失敗についてフォローできなかった（男性・高等学校の教員）
- ・話をしっかり聞かずに指導し傷つけてしまった（男性・中学校の教員）

児童・生徒との関係・コミュニケーション

- ・生徒との距離感を見誤った（男性・中学校の教員）
- ・子どもの能力以上のことをさせようとしてしまった（女性・小学校の教員）
- ・生徒の未熟な発言に立腹してしまった（男性・中学校の教員）
- ・良かれと思って気かけすぎた（男性・中学校の教員）
- ・家庭内のことまで踏み込んでしまった（男性・中学校の教員）
- ・生徒の名前を間違えた（女性・高等学校の教員）
- ・受け持ちの児童の名前を忘れた（女性・小学校の教員）

◆教科に対する意識・実感について

・子どもの頃に好きだった教科 男性・女性ともに 1 位は「算数・数学」、男性では 2 位「社会」、女性では 2 位「体育」
 好きだった理由は？ 国語「物語を読むのが好きだった」、算数・数学「答えが出ると気持ちが良い」、
 理科「実験が面白かった」、社会「歴史のストーリーが面白い」、英語「新しい言葉を知ることが楽しかった」、
 体育「体を動かすのが好きだった」、図工・美術「ものづくりが楽しかった」、音楽では「歌うことが好きだった」など

教員は、教科に対してどのような意識・実感を持っているのでしょうか。

全回答者（2,000 名）に、子どもの頃に好きだった教科を聞いたところ、男性・女性ともに 1 位は「算数・数学」（男性 339 名、女性 121 名）となり、男性では 2 位「社会」（229 名）、3 位「体育」（209 名）、4 位「理科」（134 名）、5 位「国語」（59 名）、女性では 2 位「体育」（107 名）、3 位「国語」（87 名）、4 位「音楽」（83 名）、5 位「英語」（65 名）と続きました。

◆子どもの頃に好きだった教科 （自由回答形式） ※上位10位までを表示

	男性【n=1320】	名		女性【n=680】	名
1位	算数・数学	339	1位	算数・数学	121
2位	社会	229	2位	体育	107
3位	体育	209	3位	国語	87
4位	理科	134	4位	音楽	83
5位	国語	59	5位	英語	65
6位	英語	58	6位	図工・美術	51
7位	図工・美術	39	7位	社会	47
8位	音楽	30	8位	理科	26
9位	技術	3	9位	家庭科	14
	道徳	3	10位	道徳	4

好きだった理由をみると、国語では「物語を読むのが好きだった」「文章を書くのが得意だった」、「想像することが好きだった」、算数・数学では「問題を解くのが楽しかった」や「いろいろな解き方を考えるのが楽しかった」、「答えが出ると気持ちが良い」、理科では「生き物が好きだった」や「実験が面白かった」、「科学的な考え方が身につく」、社会では「歴史のストーリーが面白い」や「地図を眺めるのが好きだった」、「世の中の出来事に興味があった」、英語では「新しい言葉を知ることが楽しかった」や「英語を通じて世界に触れられる」、「コミュニケーションが面白い」といった回答がありました。

また、体育では「体を動かすのが好きだった」や「運動が得意だった」、図工・美術では「絵を描くことが好きだった」や「ものづくりが楽しかった」、音楽では「歌うことが好きだった」や「楽器の演奏が好きだった」といった回答がありました。

◆子どもの頃に好きだった教科・理由（自由回答形式） ※回答を抜粋して表示

国語

好きだった理由
物語を読むのが好きだった 文章を書くのが得意だった 想像することが好きだった 漢字が得意だった 音読や人物の気持ちを考えるのが好きだった

算数・数学

好きだった理由
問題を解くのが楽しかった いろいろな解き方を考えるのが楽しかった 答えが出ると気持ちが良い 答えがはっきりしている 論理的に物事を考えるのが好き

理科

好きだった理由
生き物が好きだった 実験が面白かった 科学的な考え方が身につく 不思議なことを知ることができる 身の回りに関係するものが多い

社会

好きだった理由
歴史のストーリーが面白い 地図を眺めるのが好きだった 世の中の出来事に興味があった 世界のさまざまなことを知ることができる 知識が広がることに喜びを覚えた

英語

好きだった理由
新しい言葉を知ることが楽しかった 英語を通じて世界に触れられる コミュニケーションが面白い パズルを解くようで面白かった 洋楽が好きだった

体育

好きだった理由
体を動かすのが好きだった 運動が得意だった 遊び感覚だった 机にじっと座っているのが苦手だった チームプレーが楽しい

図工・美術

好きだった理由
絵を描くことが好きだった ものづくりが楽しかった 手先を動かすのが好き 創造力を発揮できる 没頭できる

音楽

好きだった理由
歌うことが好きだった 楽器の演奏が好きだった リコーダーが得意だった ピアノを習っており、親しみがあつた 楽曲を聴くことが好きだった

・子どもの頃に嫌いだった教科 男性では 1 位「国語」2 位「図工・美術」、女性では 1 位「体育」2 位「算数・数学」
嫌いだった理由は？ 国語「筆者が何を伝えたいのかわからなかった」、算数・数学「途中からよくわからなくなった」、
理科「動物の解剖でトラウマになった」、社会「暗記が苦手だった」、英語「単語を覚えるのが苦痛だった」、
体育「走るのが遅かった」、図工・美術「絵を描くのが苦手だった」、音楽「歌唱や演奏が不得意で恥ずかしかった」など

他方、子どもの頃に嫌いだった教科を聞いたところ、男性では 1 位「国語」（220 名）、2 位「図工・美術」（131 名）、3 位「英語」（128 名）、4 位「算数・数学」（125 名）、5 位「音楽」（115 名）となりました。

女性では 1 位「体育」（129 名）、2 位「算数・数学」（121 名）、3 位「社会」（83 名）、4 位「図工・美術」（64 名）、5 位「理科」（53 名）となりました。「算数・数学」と「体育」は、“子どもの頃に好きだった教科”でも TOP3 に入っており、人によって好き嫌いが分かれる教科となっているようです。

◆子どもの頃に嫌いだった教科（自由回答形式） ※上位10位までを表示

	男性【n=1320】	名		女性【n=680】	名
1位	国語	220	1位	体育	129
2位	図工・美術	131	2位	算数・数学	121
3位	英語	128	3位	社会	83
4位	算数・数学	125	4位	図工・美術	64
5位	音楽	115	5位	理科	53
6位	体育	113	6位	国語	52
7位	社会	73	7位	英語	29
8位	理科	71	8位	音楽	18
9位	家庭科	13	9位	道徳	12
10位	道徳	8	10位	家庭科	6

嫌いだった理由をみると、国語では「文章を読むのが苦手だった」や「筆者が何を伝えたいのかわからなかった」、「正解が 1 つではないことが納得できなかった」、算数・数学では「計算が苦手だった」や「図形が全然わからなかった」、「途中からよくわからなくなった」、理科では「化学式など理解が難しく感じた」や「動物の解剖でトラウマになった」、「実験が嫌い」、社会では「暗記が苦手だった」や「年号が覚えられなかった」、「何のために勉強するのかよくわからなかった」、英語では「単語を覚えるのが苦痛だった」や「うまく発音できない」、「必要性を感じなかった」といった回答がありました。

また、体育では「運動能力が高くないので、人と比較されるのが苦痛だった」や「走るのが遅かった」、図工・美術では「不器用で作品がうまくできなかった」や「絵を描くのが苦手だった」、音楽では「歌唱や演奏が不得意で恥ずかしかった」や「楽譜が読めなかった」といった回答がありました。

◆子どもの頃に嫌いだった教科・理由（自由回答形式） ※回答を抜粋して表示

国語 嫌いだった理由 文章を読むのが苦手だった 筆者が何を伝えたいのかわからなかった 正解が1つではないことが納得できなかった 漢字が覚えられなかった 作文が苦手	算数・数学 嫌いだった理由 計算が苦手だった 図形が全然わからなかった 途中からよくわからなくなった 途中式を書くのが苦手だった 公式を覚えるのが嫌だった
理科 嫌いだった理由 化学式など理解が難しく感じた 動物の解剖でトラウマになった 実験が嫌い 特に物理分野がよくわからない 理科室の薬品のにおいが苦手	社会 嫌いだった理由 暗記が苦手だった 年号が覚えられなかった 何のために勉強するのかよくわからなかった 馴染みのない言葉が多かった 地図が読めない
英語 嫌いだった理由 単語を覚えるのが苦痛だった うまく発音できない 必要性を感じなかった 文法がわからなかった 聞き取るのが難しい	体育 嫌いだった理由 運動能力が高くないので、人と比較されるのが苦痛だった 走るのが遅かった 水泳が苦手 暑い日や寒い日の運動が苦手 勝ち負けにこだわる子がいって、苦手な自分にとって辛かった
図工・美術 嫌いだった理由 不器用で作品がうまくできなかった 絵を描くのが苦手だった せっかく楽しく表現したのに、評価が低かった経験がある アイデアが浮かばなかった ものを見ても形をとらえられない	音楽 嫌いだった理由 歌唱や演奏が不得意で恥ずかしかった 楽譜が読めなかった リコーダーができなかった 興味がわからない 楽譜の通りに声を出せなかった

・子どもの頃はわからなかったが大人になって実は役立つということがわかった教科

男性では 1 位「算数・数学」2 位「社会」、女性では 1 位「社会」2 位「家庭科」

役立つシーン・役立つことがわかった場面は？ 国語「何をやるにも読解力が必要」、

算数・数学「買い物や料理で役立つ」、理科「いろいろな現象の裏付けを考えられる」、

社会「世の中の出来事の背景や理由を理解できる」、英語「外国人とコミュニケーションがとれる」、

体育「体の動かし方や大切さがわかる」、家庭科「調理や裁縫など日常生活で必要な場面が多い」、

技術「物を作って自分で使える」など

また、子どもの頃はわからなかったが大人になって実は役立つということがわかった教科を聞いたところ、男性では 1 位「算数・数学」（214 名）、2 位「社会」（165 名）、3 位「国語」（113 名）、4 位「英語」（109 名）、5 位「理科」（87 名）、女性では 1 位「社会」（110 名）、2 位「家庭科」（92 名）、3 位「算数・数学」（87 名）、4 位「国語」「理科」（いずれも 54 名）となりました。男性の TOP3 のうち「国語」、女性の TOP3 のうち「社会」と「算数・数学」は、“子どもの頃に嫌いだった教科”でもそれぞれ TOP3 に挙がっています。子どもの頃には学ぶ意義を見出せなかったものの、大人になって有用性を実感したという人が多いのではないのでしょうか。

◆子どもの頃はわからなかったが大人になって実は役立つということがわかった教科 （自由回答形式）

※上位10位までを表示

	男性【n=1320】	名		女性【n=680】	名
1位	算数・数学	214	1位	社会	110
2位	社会	165	2位	家庭科	92
3位	国語	113	3位	算数・数学	87
4位	英語	109	4位	国語	54
5位	理科	87		理科	54
6位	家庭科	62	6位	英語	44
7位	技術	20	7位	体育	10
8位	体育	18	8位	道徳	8
9位	音楽	16	9位	図工・美術	4
10位	道徳	12	10位	音楽 / 学級活動	3

役立つシーン・役立つことがわかった場面をみると、国語では「何をやるにも読解力が必要」や「コミュニケーションの基礎となる」、「資料まとめ、文章作成などどんな仕事についても必要となる」、算数・数学では「買い物や料理で役立つ」や「論理的に考える力が身につく」、「数学的な思考が役立つ」、理科では「いろいろな現象の裏付けを考えられる」や「家事をする際に役立つことがたくさんある」、「天候をはじめ、自然現象の成り立ちを把握できる」、社会では「世の中の出来事の背景や理由を理解できる」や「歴史等を知っていると旅行がより楽しい」、「経済（投資）、政治など、制度を知らないと損をする」、英語では「外国人とコミュニケーションがとれる」や「海外旅行に行ったとき」、「外国のサイトを読むとき」といった回答がありました。

また、体育では「体の動かし方や大切さがわかる」や「健康維持」、家庭科では「生活に密着している」や「調理や裁縫など日常生活に必要な場面が多い」、技術では「物を作って自分で使える」や「生活の具体的な場面で役立つ」といった回答がありました。

◆子どもの頃はわからなかったが大人になって実は役立つということがわかった教科・役立つシーンや役立つことがわかった場面
(自由回答形式) ※回答を抜粋して表示

国語

役立つシーン・役立つことがわかった場面
何をやるにも読解力が必要 コミュニケーションの基礎となる 資料まとめ、文章作成などどんな仕事についても必要となる 文章を理論立てて書くのは重要 日本文化を学べる

算数・数学

役立つシーン・役立つことがわかった場面
買い物や料理で役立つ 論理的に考える力が身につく 数学的な思考が役立つ コンピュータを扱うときに計算能力が求められる 確率や統計的にものを考えるときに必要

理科

役立つシーン・役立つことがわかった場面
いろいろな現象の裏付けを考えられる 家事をする際に役立つことがたくさんある 天候をはじめ、自然現象の成り立ちを把握できる 生活全体に息づいている 環境や未来の生活を考えることができる

社会

役立つシーン・役立つことがわかった場面
世の中の出来事の背景や理由を理解できる 歴史等を知っていると旅行がより楽しい 経済（投資）、政治など、制度を知らないと損をする 何気ない雑談に、地理の知識は必要 ドラマなどの背景がわかる

英語

役立つシーン・役立つことがわかった場面
外国人とコミュニケーションがとれる 海外旅行に行ったとき 外国のサイトを読むとき 国際化時代への対応 外国文化を理解するため

体育

役立つシーン・役立つことがわかった場面
体の動かし方や大切さがわかる 健康維持 運動の習慣が大切 体力が必要

家庭科

役立つシーン・役立つことがわかった場面
生活に密着している 調理や裁縫など日常生活に必要な場面が多い 一人暮らしをしたときにありがたみがわかる 裁縫関係全般はボタン付けなど簡易修繕に役立った

技術

役立つシーン・役立つことがわかった場面
物を作って自分で使える 生活の具体的な場面で役立つ 日曜大工やパソコン操作

◆職業観について

・子どもの頃に就きたかった職業 男性・女性ともに 1 位は「教員」

男性では 2 位「プロスポーツ選手」、女性では 2 位「保育士・幼稚園教諭」

・生まれ変わったら就きたい職業 男性・女性ともに 1 位は「教員」

男性では 2 位「大学教授・研究者」、女性では 2 位「公務員」

・自分の子どもに将来就いてほしい・就いてほしかった職業 男性・女性ともに 1 位は「公務員」

男性では 2 位「教員」、女性では 2 位「薬剤師」

職業観について質問しました。

全回答者（2,000 名）に、子どもの頃に就きたかった職業を聞いたところ、男性・女性ともに 1 位は「教員」（男性 37.3%、女性 44.0%）、3 位は「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（男性 13.2%、女性 12.6%）となり、男性では 2 位「プロスポーツ選手」（18.6%）、女性では 2 位「保育士・幼稚園教諭」（16.2%）でした。

◆子どもの頃に就きたかった職業（複数回答形式） ※上位10位までを表示

	2023年調査：男性【n=1000】	%		2024年調査：男性【n=1320】	%
1位	教員	36.0	1位	教員	37.3
2位	プロスポーツ選手	22.9	2位	プロスポーツ選手	18.6
3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	12.7	3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	13.2
4位	パイロット	10.5	4位	パイロット	9.7
5位	医師	10.1	5位	大学教授・研究者	9.2
6位	警察官・消防官・自衛官	8.6	6位	医師	8.3
7位	大学教授・研究者	8.1	7位	警察官・消防官・自衛官	6.0
8位	建築家・大工	6.3	8位	建築家・大工	5.5
9位	歌手・ミュージシャン	4.5	9位	歌手・ミュージシャン	5.0
10位	弁護士	4.1	10位	弁護士	3.9

	2023年調査：女性【n=1000】	%		2024年調査：女性【n=680】	%
1位	教員	42.5	1位	教員	44.0
2位	保育士・幼稚園教諭	21.0	2位	保育士・幼稚園教諭	16.2
3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	12.7	3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	12.6
4位	料理人・パティシエ	11.5	4位	看護師	8.4
5位	歌手・ミュージシャン	8.8	5位	料理人・パティシエ	7.8
6位	キャビンアテンダント	8.5	6位	キャビンアテンダント	7.6
	看護師	8.5	7位	歌手・ミュージシャン	7.5
8位	芸術家	7.6	8位	芸術家	6.2
9位	医師	7.0	9位	医師	5.3
10位	薬剤師	6.4		小説家	5.3

※2023 年調査：『教員の意識に関する調査 2023』（2023 年 7 月 12 日発表）

https://www.gib-life.co.jp/st/about/is_pdf/20230712.pdf

生まれ変わったら就きたい職業を聞いたところ、男性・女性ともに 1 位は「教員」（男性 18.0%、女性 14.6%）となり、男性では 2 位「大学教授・研究者」（12.7%）、3 位「プロスポーツ選手」（12.3%）、女性では 2 位「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（8.8%）、3 位「医師」「キャビンアテンダント」（いずれも 8.7%）でした。

前回の調査結果と比較すると、男性では「教員」が 2 年連続で 1 位（2023 年 14.7%、2024 年 18.0%）となり、女性では「教員」が前回 2 位（11.6%）から順位を上げ今回は 1 位（14.6%）となりました。

◆生まれ変わったら就きたい職業（複数回答形式） ※上位10位までを表示

2023年調査：男性【n=1000】			2024年調査：男性【n=1320】		
		%			%
1位	教員	14.7	1位	教員	18.0
2位	プロスポーツ選手	14.6	2位	大学教授・研究者	12.7
3位	医師	11.5	3位	プロスポーツ選手	12.3
4位	大学教授・研究者	10.7	4位	医師	10.0
5位	パイロット	9.7	5位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	8.9
6位	歌手・ミュージシャン	8.3	6位	パイロット	7.7
7位	建築家・大工	6.7	7位	建築家・大工	7.2
8位	タレント・俳優	6.0	8位	歌手・ミュージシャン	5.8
	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	6.0		タレント・俳優	5.8
10位	料理人・パティシエ	4.9	10位	弁護士	5.5

2023年調査：女性【n=1000】			2024年調査：女性【n=680】		
		%			%
1位	医師	11.8	1位	教員	14.6
2位	教員	11.6	2位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	8.8
3位	薬剤師	10.7	3位	医師	8.7
4位	歌手・ミュージシャン	10.3		キャビンアテンダント	8.7
5位	料理人・パティシエ	9.6	5位	料理人・パティシエ	7.5
6位	キャビンアテンダント	9.4	6位	薬剤師	7.2
7位	タレント・俳優	7.8	7位	芸術家	6.6
8位	芸術家	7.3	8位	歌手・ミュージシャン	6.3
9位	デザイナー	6.4	9位	タレント・俳優	6.0
10位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	6.2	10位	大学教授・研究者	5.9

自分の子どもに将来就いてほしい（就いてほしかった）職業を聞いたところ、男性・女性ともに 1 位は「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（男性 20.0%、女性 21.2%）となり、男性では 2 位「教員」（12.0%）、3 位「医師」（9.7%）、女性では 2 位「薬剤師」（12.1%）、3 位「教員」（10.3%）でした。

◆自分の子どもに将来就いてほしい（就いてほしかった）職業（複数回答形式） ※上位10位までを表示

男性【n=1320】			女性【n=680】		
		%			%
1位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	20.0	1位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	21.2
2位	教員	12.0	2位	薬剤師	12.1
3位	医師	9.7	3位	教員	10.3
4位	会社員	7.9	4位	医師	10.0
5位	大学教授・研究者	7.0	5位	会社員	7.4
6位	弁護士	5.5	6位	大学教授・研究者	6.0
	プロスポーツ選手	5.5	7位	看護師	5.7
8位	薬剤師	4.8	8位	警察官・消防官・自衛官	5.6
9位	建築家・大工	4.3	9位	料理人・パティシエ	5.0
10位	警察官・消防官・自衛官	4.1	10位	弁護士	4.9

◆結婚観について

・どのような職業の人と結婚した？ 男性では「教員」が 3 年連続 1 位、女性では「会社員」が 2 年連続 1 位

・どのような職業の人と結婚したい？

未婚男性では「教員」が 3 年連続 1 位、未婚女性では「公務員」が 3 年連続 1 位

結婚観について質問しました。

まず、既婚者（男性 1,133 名、女性 471 名）に、どのような職業の人と結婚したか聞いたところ、男性では 1 位「教員」（31.8%）、2 位「会社員」（24.4%）、3 位「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（9.8%）、4 位「保育士・幼稚園教諭」（7.5%）、5 位「看護師」（5.0%）、女性では 1 位「会社員」（35.9%）、2 位「教員」（31.4%）、3 位「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（13.2%）、4 位「警察官・消防官・自衛官」（2.5%）、5 位「建築家・大工」（2.1%）となりました。

過去の調査結果と比較すると、男性では「教員」が 3 年連続 1 位（2022 年 38.2%、2023 年 35.5%、2024 年 31.8%）、女性では「会社員」が 2 年連続 1 位（2023 年 38.2%、2024 年 35.9%）でした。

◆どのような職業の人と結婚したか（単一回答形式） ※上位10位までを表示

対象：既婚者

	2022年調査： 男性[n=849]	%		2023年調査： 男性[n=844]	%		2024年調査： 男性[n=1133]	%
1位	教員	38.2	1位	教員	35.5	1位	教員	31.8
2位	会社員	25.6	2位	会社員	25.9	2位	会社員	24.4
3位	保育士・幼稚園教諭	8.0	3位	保育士・幼稚園教諭	9.0	3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	9.8
4位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	5.3	4位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	6.5	4位	保育士・幼稚園教諭	7.5
5位	看護師	4.9	5位	看護師	5.5	5位	看護師	5.0
6位	芸術家	1.2	6位	芸術家	1.5	6位	芸術家	1.1
7位	料理人・パティシエ	1.1	7位	料理人・パティシエ	0.6	7位	料理人・パティシエ	0.9
8位	薬剤師	0.8	8位	大学教授・研究者	0.4	8位	薬剤師	0.7
9位	建築家・大工	0.6	8位	薬剤師	0.4	9位	デザイナー	0.5
10位	プロスポーツ選手	0.5	10位	建築家・大工	0.2		キャビンアテンダント	0.5
	キャビンアテンダント	0.5		小説家	0.2			

	2022年調査： 女性[n=684]	%		2023年調査： 女性[n=673]	%		2024年調査： 女性[n=471]	%
1位	教員	38.9	1位	会社員	38.2	1位	会社員	35.9
2位	会社員	35.7	2位	教員	37.9	2位	教員	31.4
3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	9.4	3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	9.4	3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	13.2
4位	警察官・消防官・自衛官	2.0	4位	警察官・消防官・自衛官	3.1	4位	警察官・消防官・自衛官	2.5
5位	大学教授・研究者	1.5	5位	建築家・大工	1.5	5位	建築家・大工	2.1
6位	料理人・パティシエ	1.3	6位	料理人・パティシエ	0.9	6位	大学教授・研究者	1.7
7位	建築家・大工	1.2	6位	大学教授・研究者	0.9	7位	料理人・パティシエ	1.1
8位	医師	0.7	8位	医師	0.6	8位	看護師	0.8
9位	芸術家	0.6	9位	デザイナー	0.4	9位	医師	0.6
	デザイナー	0.6	10位	薬剤師	0.3		薬剤師	0.4
							デザイナー	0.4
						10位	プロスポーツ選手	0.4
							冒険家	0.4
							ジャーナリスト	0.4
							弁護士	0.4

※2022 年調査：『教員の意識に関する調査 2022』（2022 年 8 月 8 日発表）

https://www.gib-life.co.jp/st/about/is_pdf/20220808.pdf

※2023 年調査：『教員の意識に関する調査 2023』（2023 年 7 月 12 日発表）

https://www.gib-life.co.jp/st/about/is_pdf/20230712.pdf

次に、未婚者（男性 187 名、女性 209 名）に、どのような職業の人と結婚したいと思うか聞いたところ、男性では 1 位「教員」（29.9%）、2 位「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（25.7%）、3 位「保育士・幼稚園教諭」（20.3%）、4 位「会社員」（17.6%）、5 位「看護師」（17.1%）、女性では 1 位「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（39.7%）、2 位「教員」（26.3%）、3 位「会社員」（24.9%）、4 位「警察官・消防官・自衛官」（16.7%）、5 位「医師」（15.3%）となりました。

過去の調査結果と比較すると、男性では「教員」が 3 年連続 1 位（2022 年 31.1%、2023 年 34.6%、2024 年 29.9%）、女性では「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」が 3 年連続 1 位（2022 年 44.0%、2023 年 36.4%、2024 年 39.7%）でした。男性はお互いのことを理解しやすい職業に就いている人、女性は安定した職業に就いている人を結婚相手として希望する傾向があるようです。

◆どのような職業の人と結婚したいと思うか（複数回答形式） ※上位10位までを表示

対象：未婚者

	2022年調査： 男性【n=151】	%		2023年調査： 男性【n=156】	%		2024年調査： 男性【n=187】	%
1位	教員	31.1	1位	教員	34.6	1位	教員	29.9
2位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	23.8	2位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	26.3	2位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	25.7
3位	看護師	19.2	3位	看護師	21.8	3位	保育士・幼稚園教諭	20.3
4位	料理人・パティシエ	16.6	4位	保育士・幼稚園教諭	20.5	4位	会社員	17.6
	保育士・幼稚園教諭	16.6	5位	薬剤師	14.7	5位	看護師	17.1
6位	会社員	15.2		料理人・パティシエ	14.7	6位	薬剤師	10.7
7位	薬剤師	11.9	7位	会社員	12.8	7位	医師	9.1
8位	タレント・俳優	11.3		医師	12.8	8位	料理人・パティシエ	8.6
9位	キャビンアテンダント	9.9	9位	キャビンアテンダント	10.9	9位	キャビンアテンダント	7.5
10位	医師	9.3	10位	タレント・俳優	10.3	10位	大学教授・研究者	7.0

	2022年調査： 女性【n=316】	%		2023年調査： 女性【n=327】	%		2024年調査： 女性【n=209】	%
1位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	44.0	1位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	36.4	1位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	39.7
2位	教員	35.4	2位	教員	30.3	2位	教員	26.3
3位	会社員	32.9	3位	会社員	26.6	3位	会社員	24.9
4位	警察官・消防官・自衛官	18.0	4位	警察官・消防官・自衛官	18.3	4位	警察官・消防官・自衛官	16.7
5位	医師	15.2	5位	医師	17.7	5位	医師	15.3
6位	大学教授・研究者	14.6	6位	建築家・大工	16.5	6位	薬剤師	14.8
7位	建築家・大工	11.7	7位	薬剤師	16.2	7位	料理人・パティシエ	12.9
8位	弁護士	10.8	8位	料理人・パティシエ	14.7	8位	大学教授・研究者	11.5
9位	薬剤師	10.4	9位	弁護士	13.5	9位	弁護士	8.6
10位	料理人・パティシエ	8.9	10位	大学教授・研究者	11.9		建築家・大工	8.6
	パイロット	8.9						

◆影響を受けた有名人について

・今までの人生で一番影響を受けた有名人 TOP2 は「イチローさん」「大谷翔平さん」

全回答者（2,000 名）に、今までの人生で一番影響を受けた有名人（芸能人、文化人、アスリート、歴史上の人物など）を聞いたところ、1 位「イチローさん」（66 名）、2 位「大谷翔平さん」（44 名）と、TOP2 には日本を代表するアスリートが挙がり、3 位「坂本龍馬」（26 名）、4 位「王貞治さん」「武田鉄矢さん」（いずれも 13 名）と続きました。

男女別にみると、男性回答では 1 位「イチローさん」（58 名）、2 位「坂本龍馬」（22 名）、3 位「大谷翔平さん」（21 名）、女性回答では 1 位「大谷翔平さん」（23 名）、2 位「イチローさん」（8 名）、3 位「ヘレン・ケラー」「羽生結弦さん」「浅田真央さん」（いずれも 5 名）でした。

影響を受けたところをみると、男性回答 1 位の「イチローさん」では「ひたむきに努力するところ」や「謙虚かつ前向きな姿勢」、女性回答 1 位の「大谷翔平さん」では「謙虚な姿勢と諦めない強さ」や「すべての行いが結果につながるという考え方」といった回答がありました。

◆今までの人生で一番影響を受けた有名人（芸能人、文化人、アスリート、歴史上の人物など）・影響を受けたところ
（自由回答形式） ※上位10位までを表示

	全体【n=2000】		名
1位	イチロー		66
2位	大谷翔平		44
3位	坂本龍馬		26
4位	王貞治		13
	武田鉄矢		13
6位	吉田松陰		9
	織田信長		9
	明石家さんま		9
9位	さだまさし		8
	徳川家康		8

	男性【n=1320】		名	影響を受けたところ（抜粋）
1位	イチロー		58	ひたむきに努力するところ/謙虚かつ前向きな姿勢
2位	坂本龍馬		22	自分を貫く生き方/将来の日本を考えて大局で動いているところ
3位	大谷翔平		21	目標達成に向けた取り組み方/夢に向かう姿
4位	王貞治		13	国民栄誉賞を受けるまでに至ったエピソードすべて
	武田鉄矢		13	ドラマ（金八先生）での演技
6位	織田信長		9	世の中を一つにする思考と行動力
7位	吉田松陰		8	桁違いの指導力と哲学の深さ
8位	さだまさし		7	話術の素晴らしさ
9位	三浦知良		6	何歳になっても向上心を持ち続けているところ
	徳川家康		6	生き方や処世術

	女性【n=680】		名	影響を受けたところ（抜粋）
1位	大谷翔平		23	謙虚な姿勢と諦めない強さ/すべての行いが結果につながるという考え方
2位	イチロー		8	物事の捉え方/目標を達成するまで努力する姿や実行力
3位	ヘレン・ケラー		5	どんな苦難にも打ち勝つ態度/不屈の精神
	羽生結弦		5	ぶれない強い気持ち/どんな状況でも高みを目指すところ
	浅田真央		5	一生懸命取り組み継続する力があるところ/オリンピックでの姿
6位	坂本龍馬		4	大胆さや奇抜さ、勇ましさ
	松任谷由実		4	彼女にしか作れない音楽性
	明石家さんま		4	周りを明るくするところ
9位	フローレンス・ナイチンゲール		3	博愛の精神
	安室奈美恵		3	初志貫徹しているところ
	黒柳徹子		3	自分の価値観で道を極めているところ
	所ジョージ		3	生き方や人生の教訓
	池江璃花子		3	病に打ち勝ち、結果も出しているところ
	野口英世		3	研究熱心なところ
	嵐		3	5人の絆の強さ

◆教員・学校×アスリート

・若手教員として職場に入ってきてほしいアスリート

男性アスリート 1 位は「大谷翔平さん」、女性アスリート 1 位は「池江璃花子さん」

・体育の授業で実技を指導してほしいアスリート

男性アスリートでは 1 位「大谷翔平さん」2 位「イチローさん」3 位「内村航平さん」

女性アスリートでは 1 位「吉田沙保里さん」2 位「石川佳純さん」3 位「浅田真央さん」「池江璃花子さん」

・学校で児童・生徒向けに講演してほしいアスリート

男性アスリート TOP3 は「大谷翔平さん」「イチローさん」「松岡修造さん」

女性アスリート TOP3 は「池江璃花子さん」「吉田沙保里さん」「浅田真央さん」

最後に、全回答者（2,000 名）に、“教員”や“学校”をテーマにイメージに合うと思うアスリートについて質問しました。

若手教員として職場に入ってきてほしいアスリート（現役のみ※プロ・アマ問わず）を聞いたところ、男性アスリートでは「大谷翔平さん」（488 名）がダントツとなり、2 位「石川祐希さん」「羽生結弦さん」（いずれも 16 名）、4 位「宇野昌磨さん」「高橋藍さん」（いずれも 14 名）と続きました。

女性アスリートでは、1 位「池江璃花子さん」（22 名）、2 位「浅田真央さん」（19 名）、3 位「阿部詩さん」「北口榛花さん」「田中希実さん」「村上佳菜子さん」（いずれも 5 名）となりました。

◆若手教員として職場に入ってきてほしいアスリート（自由回答形式） ※上位10位までを表示
全体【n=2000】

	男性アスリート	名		女性アスリート	名
1位	大谷翔平	488	1位	池江璃花子	22
2位	石川祐希	16	2位	浅田真央	19
	羽生結弦	16		阿部詩	5
4位	宇野昌磨	14	3位	北口榛花	5
	高橋藍	14		田中希実	5
6位	久保建英	12		村上佳菜子	5
7位	河村勇輝	9	7位	奥原希望	4
8位	井上尚弥	8		古賀紗理那	3
9位	八村塁	4	8位	本田真凜	3
	村上宗隆	4		馬瓜エブリン	3

体育の授業で実技を指導してほしいアスリート（引退した人含む）を聞いたところ、男性アスリートでは 1 位「大谷翔平さん」（385 名）、2 位「イチローさん」（94 名）、3 位「内村航平さん」（82 名）、4 位「室伏広治さん」（28 名）、5 位「武井壮さん」（18 名）となりました。

女性アスリートでは、1 位「吉田沙保里さん」（17 名）、2 位「石川佳純さん」（12 名）、3 位「浅田真央さん」「池江璃花子さん」（いずれも 9 名）となりました。

◆体育の授業で実技を指導してほしいアスリート（引退した人含む）（自由回答形式）

※上位10位までを表示

全体【n=2000】

	男性アスリート	名		女性アスリート	名
1位	大谷翔平	385	1位	吉田沙保里	17
2位	イチロー	94	2位	石川佳純	12
3位	内村航平	82	3位	浅田真央	9
4位	室伏広治	28		池江璃花子	9
5位	武井壮	18	5位	北口榛花	5
6位	松岡修造	16		高橋尚子	5
7位	石川祐希	13	7位	小平奈緒	4
	北島康介	12	8位	大坂なおみ	3
8位	長谷部誠	12		山口茜	3
	八村塁	12	10位	阿部詩 / 伊調馨 / 奥原希望 / 田中希実 / 谷亮子 / 増田明美	2

学校で児童・生徒向けに講演してほしいアスリート（引退した人含む）を聞いたところ、男性アスリートでは「大谷翔平さん」（426 名）がダントツで、“若手教員として職場に入ってきてほしいアスリート”“体育の授業で実技を指導してほしいアスリート”とあわせ三冠となりました。以降、2 位「イチローさん」（191 名）、3 位「松岡修造さん」（27 名）、4 位「室伏広治さん」（18 名）、5 位「長谷部誠さん」（16 名）と続きました。

女性アスリートでは 1 位「池江璃花子さん」（19 名）、2 位「吉田沙保里さん」（13 名）、3 位「浅田真央さん」（12 名）、4 位「高橋尚子さん」（10 名）、5 位「石川佳純さん」（8 名）となりました。オリンピック出場など、世界を舞台に活躍したアスリートの経験談を子どもたちに聞かせたいと思う人が多いのではないのでしょうか。

◆学校で児童・生徒向けに講演してほしいアスリート（引退した人含む）（自由回答形式）

※上位10位までを表示

全体【n=2000】

	男性アスリート	名		女性アスリート	名
1位	大谷翔平	426	1位	池江璃花子	19
2位	イチロー	191	2位	吉田沙保里	13
3位	松岡修造	27	3位	浅田真央	12
4位	室伏広治	18	4位	高橋尚子	10
5位	長谷部誠	16	5位	石川佳純	8
6位	三浦知良	15	6位	小平奈緒	7
7位	羽生結弦	14	7位	高木美帆	5
8位	栗山英樹	12		北口榛花	3
9位	国枝慎吾	9	8位	谷亮子	3
	武井壮	9		増田明美	3

注：本調査レポートの百分率表示は小数点第2位で四捨五入の丸め計算を行っているため、内訳を合計しても100%とならない場合があります。

《調査概要》

- ◆調査タイトル : 教員の意識に関する調査 2024
- ◆調査対象 : ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする
20歳～69歳の教員（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）
- ◆調査期間 : 2024年5月23日～6月10日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 2,000名
(内訳)

男性	女性	計
1,320	680	2,000

- ◆調査協力会社 : ネットエイジア株式会社

■■会社概要■■

- 会社名 : ジブラルタ生命保険株式会社 : The Gibraltar Life Insurance Co., Ltd.
- 本社所在地 : 〒100-8953 東京都千代田区永田町 2-13-10
- 代表者名 : 代表取締役社長 兼 CEO 添田 毅司（そえだ たけし）
- 営業開始 : 2001年4月3日
- 営業種目 : 個人保険、個人年金保険、団体保険、団体年金保険、再保険



**本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「ジブラルタ生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。**

■本リリースに関するお問い合わせ先

ジブラルタ生命保険株式会社 広報チーム 【Tel】 03-5501-6563